I-O DATA

管理マニュアル

アプライアンスサーバー
APX2-INF4T/RO5A

すぐ取り出せる場所に保管してください

MANU001094

MANU001094

もくじ

注意事項など
本製品を使う上で、お守りいただきたいご注意です。必ずお読みください。

使う前に
- 安全のために ... 3
- 使用上のご注意 ... 5
- 添付品を確認する ... 8
- 動作環境 ... 9
- 各部の名称・機能 ... 10

初期設定
本製品の設置・導入方法を説明しています。最初におこなうべき設定もまとめています。

導入する
- ステップ1　ISS に登録する ... 13
- ステップ2　設置する ... 15
- ステップ3　NarSuS に登録する ... 22
- ステップ4　本製品の初期設定 ... 27
- ステップ 5　LTV-Sign の初期設定 ... 33
- 管理ソフト「ZWS Manager」 ... 36
- RAID 設定 ... 37
- 困った時には ... 38

ファイルサーバーの利用
本製品のファイルサーバー機能に関する設定方法を説明しています。

共有の作成と管理
- 共有を作成する ... 40
- ユーザー数制限 ... 45
- アクセス許可 ... 46
- クォータ管理 ... 47

バックアップと回復
- USB HDD を暗号化する ... 51
- バックアップと回復 ... 54

ディスクとボリュームの活用
- フォーマット ... 60
- シャドウコピー設定 ... 61

その他

ファイルを探す
- 全文検索機能 ... 65

ウイルススキャン
- Windows セキュリティ ... 66

故障時の対応

故障時の対応
- 故障と思ったら… ... 67
- システムリカバリーする ... 68

資料

資料
- 出荷時設定 ... 74
- タイムスタンプ仕様 ... 74
- ZWS Manager のログ、メール一覧 ... 75
- アフターサービス ... 78
- オンサイト保守パック サービス内容 / ご利用規約 ... 81
- データ復旧ご利用規約 ... 88
- ハードウェア保証規定 ... 90

使う前に

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼警告および注意表示

⚠警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
⚠注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼絵記号の意味

⃠	禁止
❗	指示を守る

⚠警告

本製品を修理・改造・分解しない
⃠ 発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない
⃠ 感電の原因になります。

故障や異常のまま、つながない
⃠ 本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。
そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

AC アダプターや本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない
⃠ 水や洗剤などが AC アダプターや本製品にかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。
- お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
- 水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に置かないでください。
- 万一、AC アダプターや本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。

本製品の小さな部品を乳幼児の手の届くところに置かない
⃠ 誤って飲み込み、窒息や胃などのへ障害の原因になります。
万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない
⃠ 発火の原因になります。

本製品の取り付け、取り外し、移動は、必ず本製品の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてからおこなう
❗ 電源コードを抜かずにおこなうと、感電の原因になります。

決められた電源で使用する
❗ 所定以外の電源で、本製品を使用すると発火・感電の原因になります。

煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使うのを止める
❗ そのまま使用すると発火・感電の原因になります。

⚠警告　●電源（AC アダプター・コード・プラグ）について

AC アダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない

電源コードから発煙したり、発火の原因になります。

添付の AC アダプターや電源コードは、他の機器につながない

発火や感電の原因になります。
添付の AC アダプターや電源コードは、本製品専用です。

AC100V（50/60Hz）以外のコンセントにつながない

発火、発熱のおそれがあります。

コンセントまわりは定期的に掃除する

長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。（トラッキング現象）
トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。

熱器具のそばに配線しない

電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。

電源コードや AC アダプターにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない

電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。
電源コードの芯線 (電気の流れるところ) が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く

そのまま使うと発火・感電の原因になります。

ゆるいコンセントにつながない

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して発火の原因になります。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない

発火の原因になります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると傷が付き、発火や感電の原因になります。

テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない

テーブルタップの定格容量 (1500W などの記載) を超えて使用するとテーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

⚠注意

本製品を踏まない

破損し、ケガの原因となります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

取り付け、取り外しの際は手袋をつける

ハンダ付けの跡やエッジ部分などがとがっている場合があります。誤って触れると、けがをするおそれがあります。

人が通行するような場所に配線しない

足を引っ掛けると、けがの原因になります。

使用上のご注意

≪重要≫データバックアップのお願い

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。
万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」をおこなってください。
本製品または接続製品の保存データの破損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などをすることもできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

バックアップとは
本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体（HDD・BD・DVD など）にデータの複製を作成することです。（データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが 2 か所にあることを「バックアップ」と言います。）
万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップを行ってください。

最新のファームウェアをご利用ください

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。最新版でない場合、保証適用を受けられない場合もあります。

本製品を廃棄や譲渡などされる際のご注意

・HDD などのストレージに記録されたデータは、OS 上で削除したり、フォーマットするなどの作業をおこなっただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性もありますので、情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめします。
※ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。
・NarSuS に登録している場合は、製品登録情報を削除してください。
・本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

制限事項

・本製品にはあらかじめ下記のユーザー、グループ、共有フォルダーが作成されています。誤って削除しないようご注意ください。また、このユーザー名でログインしないでください。

ユーザー	admin　manx_admin　ituser00000 ～ ituser99999
グループ	itUserGroup　StorageAccessibleUsers
共有フォルダー	Atmos　Backup　History　ITFolder　Log　Manx　Temp

・e-Sharing サービスご利用時、ご利用いただけない機能がございます（iSCSI、記憶域プール、NIC チーミング、ドメイン参加 等）。
また、弊社製ソフトウェア「データコピー for Windows」「クローン for Windows 」は、本製品にプリインストールされていますが、e-Sharing サービスご利用時はご利用いただけません。
詳細は、下記 RICOH e-Sharing サービスマニュアルもしくは弊社 Web ページをご確認ください。

▼ RICOH e-Sharing サービスマニュアル

https://manuals.ricoh.com/e-sharing-service/manual/html/help/web/ja/booklist/int/index_book.htm

※ RICOH e-Sharing サービスでは、本製品「アプライアンスサーバー APX2-INF4T/RO5A」を、「RICOH e-Sharing サービス : Station」と呼びます。

▼弊社 Web ページ

https://www.iodata.jp/product/nas/appliance/apx2-inf4tro5/

その他のご注意

・動作中に本製品や外付け HDD の電源を切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。
・本製品はローカルネットワーク上でご利用ください。本製品にグローバル IP アドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。
ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をお願いいたします。
・動作確認済み以外のソフトウェアは、インストール（利用）しないでください。本製品の安定運用に影響を及ぼすおそれがあります。
動作確認済みのソフトウェアは以下の弊社ホームページをご確認ください。
https://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/landisk_soft.htm
・本製品を以下のような機能を設定して、利用することはできません。
- ファイアウォール、VPN、Web キャッシュの役割
- メールサーバー
- 認証サーバー（ドメインコントローラー等）
- ネットワーク・インフラストラクチャ・サービス（Web サーバー等）
・本製品は「スリープ」には対応しておりません。

お手入れについて

本製品についた汚れなどを落とす場合は、本製品の電源を切り、電源コードを抜いてから、柔らかい布で乾拭きしてください。
・汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭く。
・ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使わない。変質したり、塗装をいためたりすることがあります。
・市販のクリーニングキットは使わない。

添付品を確認する

□ AC アダプター（1 個）

□ 電源コード（1 本）※ AC アダプター専用

□ AC プラグ変換アダプター（1 個）

□ カテゴリー 6A LAN ケーブル（1 本）

□ リカバリー USB メモリー（1 本）

□ NAS メンテナンスカード（1 枚）

☑ 管理マニュアル（本書）

□ オンサイト保守パック お申込みコード（1 枚）

NAS メンテナンスカードについて
本製品のシリアル番号（S/N）が記載されています。
本製品側面のカードフォルダーに入れて保管します。

ユーザー登録はこちら…https://ioportal.iodata.jp/
ユーザー登録にはシリアル番号（S/N）が必要となりますので、メモしてください。
シリアル番号（S/N）は本製品貼付のシールに印字されている 12 桁の英数字です。
（例：ABC1234567ZX）

AC プラグ変換アダプターの接地接続（アース接続）についてのご注意
接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行って下さい。
また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行って下さい。

動作環境

対応機種・OS、ハードウェア仕様、対応外付け HDD・周辺機器・UPS、対応ソフトウェアなどの情報については、下記弊社 Web ページにアクセスしてご確認ください。

https://www.iodata.jp/product/nas/appliance/apx2-inf4tro5/

ご注意
- ●本製品および別売オプション HDD 以外のご利用はサポート対応外となります。
- ●本製品の設定には、Windows のリモートデスクトップ機能を利用しています。Mac など他のパソコンからの設定はおこなえません。上記「本製品の設定に必要な環境」の「環境②」をご用意ください。
- ●本製品は、RAID 構成により、ハードディスクの故障によるデータの破損およびシステムダウンを防ぐことはできますが、ウイルスの感染やユーザーの操作ミス、使用中の停電などのトラブルに起因するデータ損失を防ぐことはできません。USB HDD などへのバックアップをご利用ください。
- ●外付け HDD をはじめて本製品に接続して使用する場合は、必要に応じてフォーマットをおこなってください。
- ●外付け HDD は、本製品のバックアップ先としてのみ使用してください。

UPS との電源連動方法について
出荷時設定が「自動」になっており、電源障害により本製品の電源が落ちた際でも復電後に自動で起動します。また、この場合でも元々本製品の電源が入っていない場合は起動しません。
その上で、設定を変更する場合は、以下をお試しください。

①本製品の電源投入直後より、USB キーボードの [Delete] キーを押しつづける
→ BIOS 設定画面が起動します。

②カーソルキーで [Chipset] → [PCH-IO Configuration] → [State After G3] を選び、[Enter] キーを押す

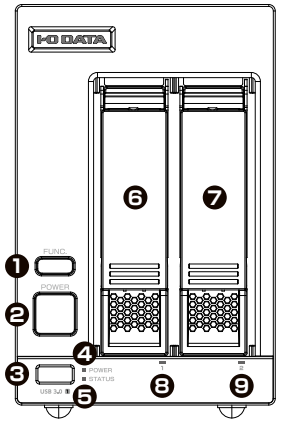
③設定値を選び、[Enter] キーを押す

Last State	前回の状態を維持します。（出荷時設定）
Always On	電源復電後、本製品が起動します。
Always Off	電源復電後、本製品は電源オフのままにします。

④ [Save & Exit] → [Save Changes and Reset] を選び、[Enter] キーを押す

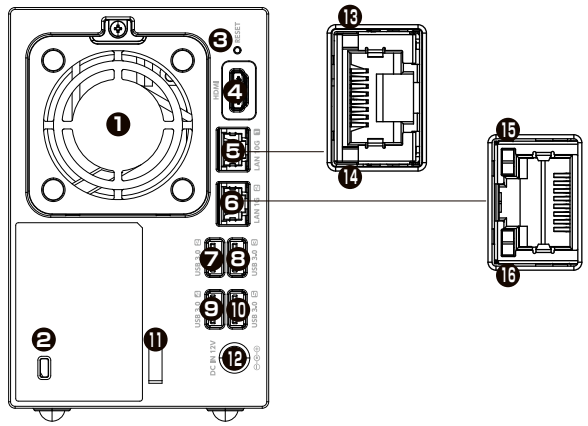
各部の名称・機能

前面



❶ FUNC. ボタン		エラー発生時にブザーが鳴り続けている時、2 秒以上押すとブザーを停止します。 また、6 秒以上押すとあらかじめ登録したプログラムを実行できます。
❷ POWER ボタン		短押し（1 秒程度）→本製品の電源を ON/OFF します。 ※電源 ON の状態で3秒以上押し続けると強制電源 OFF になります。 3秒以上電源ボタンを押し続けないでください。
❸ USB ポート 1		増設用 USB ポートです。（USB 3.2 Gen1）
❹ POWER ランプ	消灯	コンセント未接続
	赤点灯	電源 OFF（コンセント接続済み）
	緑点灯	電源 ON
❺ STATUS ランプ		本製品の状態を示します。 詳しくは、【故障と思ったら…】（67 ページ）をご覧ください。
❻ディスク 1 ❼ディスク 2		カートリッジを接続します。 脱着レバーは、カートリッジを取り出す際に利用します。
❽ディスク 1 ランプ ❾ディスク 2 ランプ	青点灯	正常認識時
	青点滅	アクセス時
	赤点灯	エラー時
	消灯	未接続時

背面



❶ FAN		冷却用 FAN です。ふさがないでください。
❷ケンジントンセキュリティスロット		盗難対策にケンジントン製ロックを取り付けられます。
❸ RESET スイッチ		使用しません。
❹ HDMI コネクター		ディスプレイを接続します。※ HDMI Rev1.4b (HDCP非対応)
❺ LAN ポート1（10G）		添付の LAN ケーブルを接続します。 ※最大 10Gbps（理論値）で通信するには、ネットワークが 10GbE に対応している必要があります。LAN ケーブルについて、55m まではカテゴリー 6 で対応可能です。
❻ LAN ポート2（1G）		添付の LAN ケーブルを接続します。
❼ USB ポート 2 ❽ USB ポート 3 ❾ USB ポート 4 ❿ USB ポート 5		増設用 USB ポートです。（USB 3.2 Gen1）
⓫ケーブルフック		AC アダプターが抜けないように引っかけるフックです。
⓬ DC-IN		添付の AC アダプターを接続します。
⓭ Link/Act ランプ（10G）	黄緑点灯	Link 中
	黄緑点滅	データを送受信中
	消灯	未接続
⓮ LAN Speed ランプ（10G）	黄緑点灯	10G
	橙点灯	5G/2.5G/1G/100M のいずれか
	消灯	未接続
⓯ Link/Act ランプ（1G）	黄緑点灯	Link 中
	黄緑点滅	データを送受信中
	消灯	未接続
⓰ LAN Speed ランプ（1G）	黄点灯	1G
	消灯	100M/10M/ 未接続のいずれか

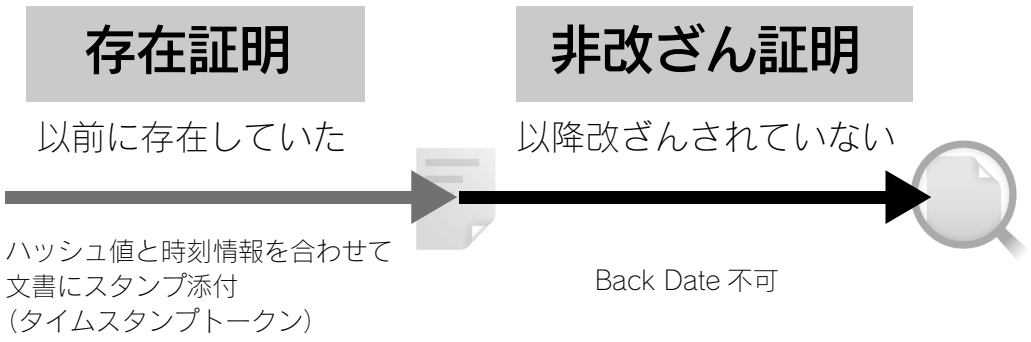
導入する

ご注意

●本製品を利用して電子書類のタイムスタンプを確認する際、インターネット環境が必要です。

タイムスタンプとは?

タイムスタンプとは、電子文書の証拠性を上げる仕組みです。
証拠性を上げるため、作成者以外の第三者が「存在証明」と「非改ざん証明」を証明します。
本製品では、10 年間の有効期限をもつタイムスタンプを 5 年間無制限に押印いただけます。



本製品では、「セイコータイムスタンプサービス」を利用しています。

evi Daemon

（【タイムスタンプ仕様】（74 ページ）参照）

ご注意

●本製品を利用する場合、ISS（アイオー・セーフティ・サービス）の登録が必要となります。

ステップ 1　ISS に登録する

ISS（アイオー・セーフティ・サービス）とは?

アイオー・セーフティ・サービスは、対象製品をより長く安心してご利用いただくために、万一の場合の保守を実施する有償保守サービスです。
設置から、故障時の交換、本製品入替えのドキュメント引越しサービスまで充実のサービスをご用意。ワンストップでのサービスをご提供いたします。
オンサイト保守サービスは、故障時、サービスマンがお客様のところへお伺いし、故障品の交換作業などをおこないます。

本商品には、
・ISS（アイオー・セーフティ・サービス）
・オンサイト保守（5 年）
・データ復旧サービス
が含まれております。
【オンサイト保守パック サービス内容 / ご利用規約】（81 ページ）をご確認の上、登録をしてください。

ご注意

● ISS への契約期間が「セイコータイムスタンプサービス」の契約期間になります。

ISS 登録のしかた

1 インターネットに接続可能なパソコンから、以下 URL にアクセスする
https://www.iodata.jp/support/iss/

2 

[未登録の方] 下の [こちら] をクリック

3 画面の指示にしたがってお申込みを完了させる

これで登録完了です。
次に「セイコータイムスタンプサービス」の ID、パスワードを確認します。

「セイコータイムスタンプサービス」ID、パスワードの確認方法

1 インターネットに接続可能なパソコンから、以下 URL にアクセスする
https://www.iodata.jp/support/iss/

2



登録した［ログイン ID］［パスワード］を入力し、［ログイン］をクリック

3



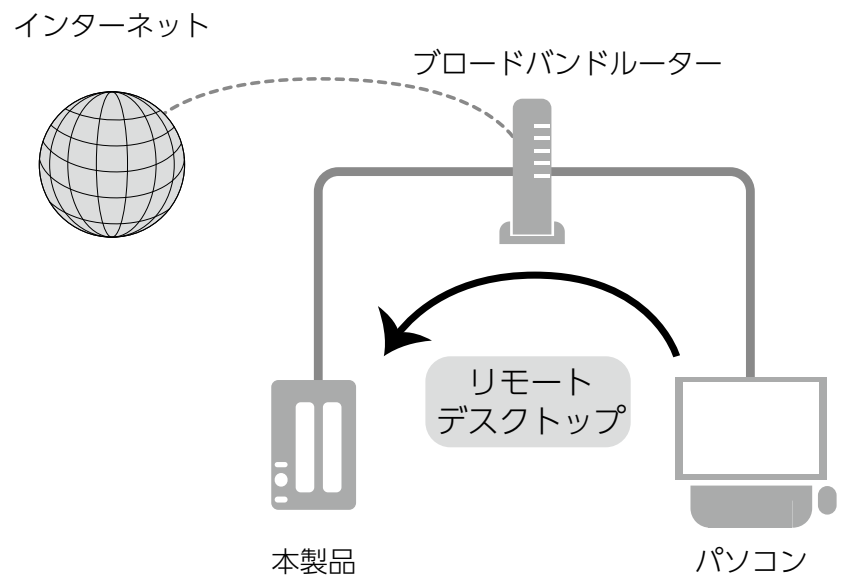
本製品の［詳細表示］をクリック

画面下に「セイコータイムスタンプサービス」の ID、パスワードが表示されますのでメモします。
▼メモ欄

ID	
パスワード	

ステップ 2　設置する

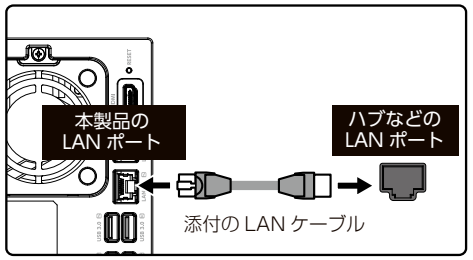
本製品は、同一ネットワーク上にあるパソコンからリモートデスクトップ機能を利用して管理します。
また、本製品に直接ディスプレイなどを接続し、管理することもできます。



本製品を複数台導入する場合
コンピューター名が重複すると、一方の本製品がネットワーク上で認識されないなどの不具合になります。先に初期設定を完了している本製品のコンピューター名を変更してから、次の本製品の初期設定をおこなってください。
【コンピューター名 / ドメイン名の設定を確認する】（31 ページ）参照

※ネットワークを利用せずに設定する場合は、【ネットワークを利用せずに設定する場合】（18 ページ）をご覧ください。

1 添付の LAN ケーブルを本製品とハブにつなぐ



10G LAN ポート

カテゴリー 6A の LAN ケーブルで接続すると最大 10Gbps（理論値）で通信することができます。

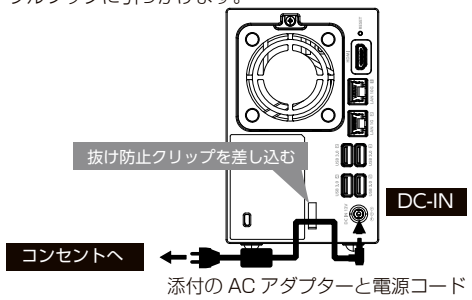
※最大 10Gbps（理論値）で通信するには、ネットワークが 10GbE に対応している必要があります。

ご注意

●必ず、LAN ケーブルが確実に接続されていることを確認してから本製品の電源を入れてください。LAN ケーブルを接続する前に本製品の電源を入れると、正しくネットワークに参加できなくなります。

2 添付の電源コードを本製品とコンセントにつなぐ

※ケーブルフックに引っかけます。



添付の AC アダプターと電源コード

※必要に応じて AC プラグ変換アダプターをご利用ください。

3 前面の電源ボタンを押す

本製品の電源が入ります。
次に【リモートデスクトップ接続する】（20 ページ）へお進みください。

電源を切る場合

●動作中にシャットダウンを完了せずに、電源コードを抜いたり、スイッチ付き AC タップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。電源の切り方については、次ページをご覧ください。

電源の切り方

ご注意

●外付け HDD やプリンターがある場合は、本製品の電源を切ってから、外付け HDD やプリンターの電源を切ってください。
●ファイルコピー中に本製品や外付け HDD の電源を切るとコピーの処理が正常におこなわれません。本製品や外付け HDD のアクセスランプを確認の上、電源を切ってください。
●本製品設定中は本製品の電源を切らないでください。
●本製品起動処理中は本製品の電源を切ることはできません。
●長期間使用しない場合は、電源コードをコンセントから外しておくことをおすすめします。

本製品の電源ボタンで切る

本製品前面の電源ボタンを短押し（1 秒程度）します。
シャットダウン処理が終了すると、自動的にランプが消灯します。

ご注意

●電源ボタンを長押し (3秒以上) しないようご注意ください。3 秒以上押した場合、強制電源断状態となり製品再起動後に RAID リビルドが発生する場合があります。
●本製品がロック状態になっていると、電源ボタンを押してもシャットダウンできない場合があります。この場合、USB キーボードでロックを解除してから電源ボタンを押してください。

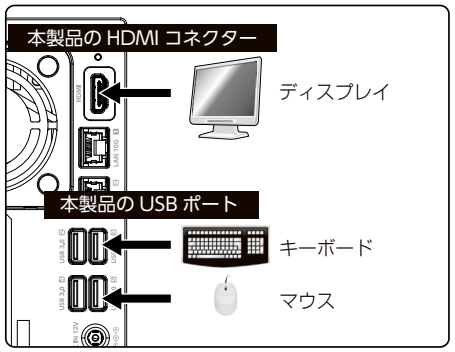
リモートデスクトップで切る

①[スタート] →［電源］をクリックし、［シャットダウン］をクリックします。
②該当する理由を選択し、［続行］をクリックします。

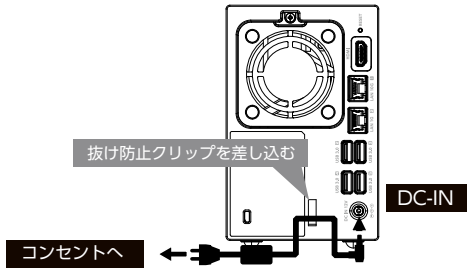
シャットダウン処理が終了すると、自動的にランプが消灯します。

ネットワークを利用せずに設定する場合

1 ① HDMI コネクターにディスプレイをつなぐ
② USB ポートにキーボード、マウスをつなぐ



2 添付の電源コードを本製品とコンセントにつなぐ
※ケーブルフックに引っかけます。



添付の AC アダプターと電源コード
※必要に応じて AC プラグ変換アダプターをご利用ください。

3 前面の電源ボタンを押す

OS 選択画面では…
［Windows Server］を選択し、Enter キーを押してください。

4



パスワードは、後ほど変更してください
●出荷時パスワードは「admin」です。セキュリティのため、パスワードは変更してください。
（【困った時には】（38 ページ）参照）

ログオンに成功すると、初期画面が開きます。この画面から設定をおこないます。
次に【ステップ3　NarSuS に登録する】（22 ページ）へお進みください。

リモートデスクトップ接続する

MagicalFinder をダウンロードする

MagicalFinder とは？
MagicalFinder は、ネットワーク上の LAN DISK などを自動検出し、IP アドレス設定やリモートデスクトップ接続をおこなうことができるソフトウェアです。
同一ネットワーク上にあるパソコンから本製品を検出し、リモートデスクトップ接続ができます。

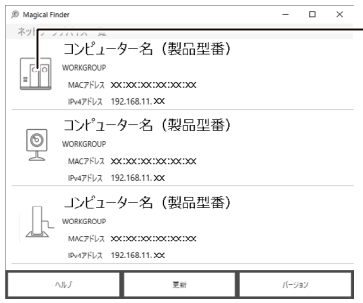
本製品と同一ネットワーク上にあるパソコンから、以下の弊社 Web ページにアクセスし、ダウンロードしてください。

https://www.iodata.jp/r/3022.htm

リモートデスクトップ接続する

1 MagicalFinder を起動する

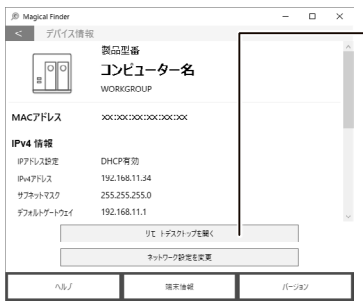
2



検出された本製品をクリック

本製品が検出されない
［更新］をクリックしてください。それでも検出されない場合は、本製品やお使いのパソコンがネットワークに接続されていることをご確認ください。

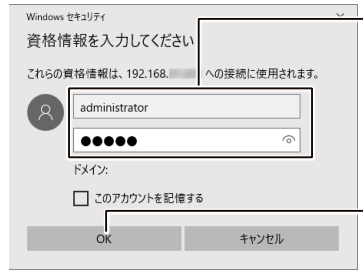
3



［リモートデスクトップを開く］をクリック

［ネットワーク設定を変更］について
コンピューター名の変更、ワークグループの変更、IPv4 設定（IPv6 設定）などのネットワーク設定ができます。
ここで設定できる項目はデバイスの種類やシステムバージョンによって異なります。
※ Active Directory ドメインに参加している場合、ネットワーク設定の変更はできません。
設定方法は、Magical Finder のヘルプをご確認ください。

4



①以下の資格情報を入力

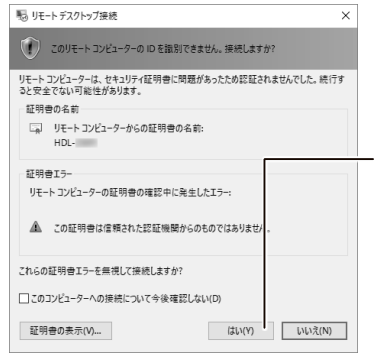
ユーザー名	administrator
パスワード	admin

② [OK] をクリック

※上記画面が表示されない場合は、本製品とパソコンが同じセグメントにないことが考えられます。前ページの【[ネットワーク設定を変更］について】で IP アドレスをご確認ください。

パスワードは、後ほど変更してください
●出荷時パスワードは「admin」です。セキュリティのため、パスワードは変更してください。
（【困った時には】（38 ページ）参照）

以下のような画面が表示された場合



[はい] をクリック

リモートデスクトップ接続をして、本製品の画面が開きます。
次に【ステップ3　NarSuS に登録する】（22 ページ）へお進みください。

Windows の［リモートデスクトップ接続］から開く場合
1．以下の手順で［リモートデスクトップ接続］を起動する
● Windows 10 の場合
[スタート] → [すべてのアプリ] → [Windows アクセサリ] → [リモートデスクトップ接続] をクリック
● Windows 11 の場合
タスクバーの虫眼鏡アイコンをクリックし、「リモート」で検索し、検索された中から [リモートデスクトップ接続] をクリック

2．



①コンピューター名を入力

コンピューター名について
出荷時設定では、APX-INFT を入力します。

② [接続] をクリック

このあと、上記手順 4 をご覧ください。

ステップ3　NarSuS に登録する

NarSuS（ナーサス）とは？
NarSuS は、24 時間 365 日、お客様の NAS を見守る安心サービスです。
万一トラブルが発生しても、自動的にメールでトラブルをお知らせします。
本製品に接続された UPS や外付け HDD の見守りもおこなえます。
詳しくは以下の URL から、NarSuS ヘルプをご確認ください。
https://www.iodata.jp/lib/manual/narsus_help_lib/index.html

ご注意

- ●本機能は、IPv4 ネットワークでのみ使用できます。
- ● Internet Explorer でご利用の場合、あらかじめ "https://www.narsus.jp" を [インターネットオプション] →[セキュリティ] から [信頼済みサイト] に登録しておいてください。

1

※本製品へのログオンに成功したら、以下のような画面が表示されます。

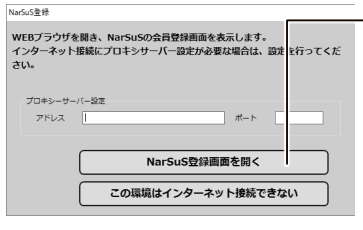


● NarSuS に LAN DISK を登録したことがない場合
［NarSuS にはじめて登録（無料）］をクリック

●すでに他の LAN DISK を登録している場合
［NarSuS に製品を追加登録］をクリック

※ NarSuS 登録をしてから、本製品の設定をおこなってください。

2

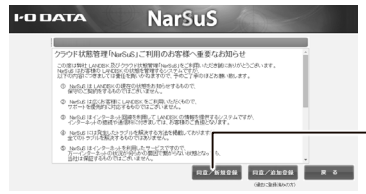


[NarSuS 登録画面を開く] をクリック

[プロキシサーバー設定]
インターネット接続にプロキシサーバーの設定が必要な場合は、ご利用のネットワーク管理者に設定等をご確認ください。

インターネットに接続できない場合
【インターネットに接続できない環境で NarSuS に登録する】（25 ページ）をご覧ください。

3



内容を確認し、
[同意 / 新規登録] をクリック

追加で登録する場合



①登録済みの [ID]、[パスワード] を入力

②［ログイン ］をクリック



③［同意／追加登録 ］をクリック

このあと、手順 4 へお進みください。

4 画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する

※ LAN ポートが複数ある LAN DISK の場合は、「MAC1」の MAC アドレスを入力してください。

5 登録が完了したら、Web ブラウザーを閉じる

登録通知メールが送付されますので、保管しておいてください。
以上で NarSuS 登録は完了です。

ご注意

- ●登録に失敗した場合、以下をご確認ください。
  - ・本製品がインターネットに接続可能な環境に設置されていること（LAN ケーブルが正しく接続されていること）
  - ・プロキシを介してインターネットへ接続する場合は、プロキシが正しく設定されていること
  - ・本製品の TCP/IP 設定を手動でおこなっている場合は、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーが正しく設定されていること
  - ・お使いの Web ブラウザーのキャッシュ（Cookie）をクリアして再度お試しください。

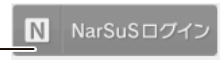
NarSuS へのログイン方法

方法 1　以下 URL にアクセスしてください。
https://www.narsus.jp/

方法 2　①タスクトレイのアイコンをクリック



② NarSuS 設定画面右上の
[NarSuS ログイン] ボタンをクリック



NarSuS 設定画面



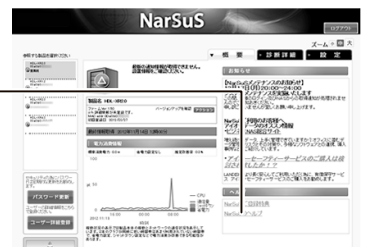
NarSuS リモート設定	通常は［OFF］にしてご利用ください。 ※アイオー保守パートナー様向けの拡張機能です。 本製品のファームウェアバージョンアップなど、 定期的なメンテナンスをリモート操作で実施可能になります。	
NarSuS 設定	プロキシの設定が必要な場合、 ［プロキシサーバー］ にチェックをつけ、 プロキシサーバーの［アドレス］ と［ポート］ を入力します。 ※設定内容については、 ご利用のネットワーク管理者に確認してください。 ※［認証用プロキシ設定］ をクリックすると、 認証用の［ユーザー名］ ［パスワード］ を設定できます。	
アップデート設定	自動アップデート設定	NarSuSアプリやNarSuSのイベント通知の定義ファイルが更新された場合の、 自動アップデートについて設定します。 自動アップデートする場合は、 実行する曜日、時刻を設定できます。 ※出荷時には、自動アップデートは有効になっています。
	プログラム手動更新	クリックすると、 本NarSuSアプリを更新します。
	定義ファイル手動更新	クリックすると、 NarSuSのイベント通知の定義ファイルを更新します。

※アップデート時に再起動する場合があります。 ご注意ください。
※本設定は、 管理ソフト「ZWS Manager」 のアップデートも対象です。

利用コードの確認
設定によっては、利用コードを求められます。
NarSuS の Web ページにログインし、本製品を選んだ後、［製品詳細登録］ をクリックして、利用コードを確認してください。

NarSuS の利用方法

NarSuS へログイン後、
[NarSuS のヘルプ] をクリック

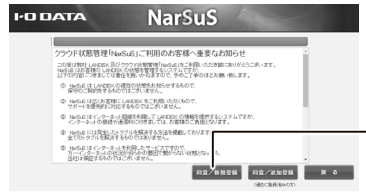


スマートフォンからは、以下の QR コードを読み込むと閲覧できます。

インターネットに接続できない環境で NarSuS に登録する

1 インターネットに接続できるパソコンから、次の URL にアクセスする
https://www.narsus.jp/user-reg

2



内容を確認し、
[同意 / 新規登録] をクリック

追加で登録する場合



① [同意 / 追加登録] をクリック



②登録済みの [ID]、[パスワード] を入力

③ [ログイン] をクリック

このあと、手順 3 へお進みください。

3 画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する
※ LAN ポートが複数ある LAN DISK の場合は、「MAC1」の MAC アドレスを入力してください。

4



登録完了画面に表示された
「ご利用コード」をメモする

※登録通知メールが送付されますので、保管しておいてください。

5 本製品にログオンする

6



①メモした [ご利用コード] を入力

② [設定する] をクリック

以上で NarSuS 登録は完了です。

ステップ4　本製品の初期設定

初回起動時におこなう必要最小限の設定です。

1 NAS に設定する以下の項目を確認する

※設置場所のネットワークによります。

- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ
- DNS サーバー

2 Administrator でログオンする

3

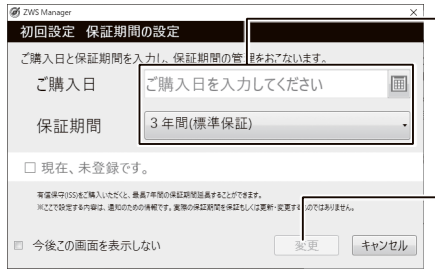


①新しいパスワードを入力

② [変更] をクリック

※再度変更する場合は、【困った時には】（38 ページ）参照

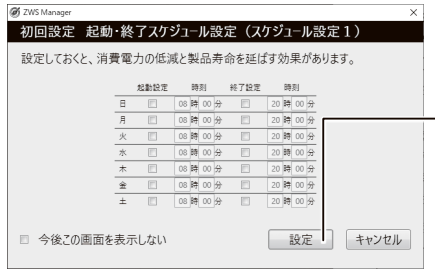
4



①ご購入日と保証期間を選ぶ

② [変更] をクリック

5



スケジュール設定をして
[設定] をクリック

【日時・時刻設定を確認する】（28 ページ）へお進みください。

SNMP を利用する場合

C:¥I-O DATA フォルダーに設定のためのツールと設定方法を記載したファイルが格納されています。
SNMP 設定をおこなう場合は、C:¥I-O DATA フォルダーを参照してください。

日時・時刻設定を確認する

1



①タスクトレイの時刻をクリック

②［日付と時刻の設定］をクリック

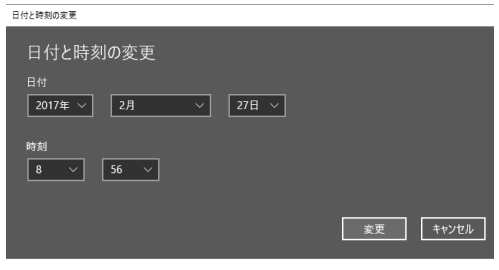
2



［時刻を自動的に設定する］を［オン］にする

本製品がインターネットに接続しない場合

●本製品がインターネットに接続されていない場合は、［日付と時刻を変更する］の［変更］から正確な時刻を設定してください。



以上で、設定は完了です。

IP アドレスを確認する

1

［サーバーマネージャー］を開く

2



①［ローカルサーバー］をクリック

②［イーサネット］横のリンクをクリック

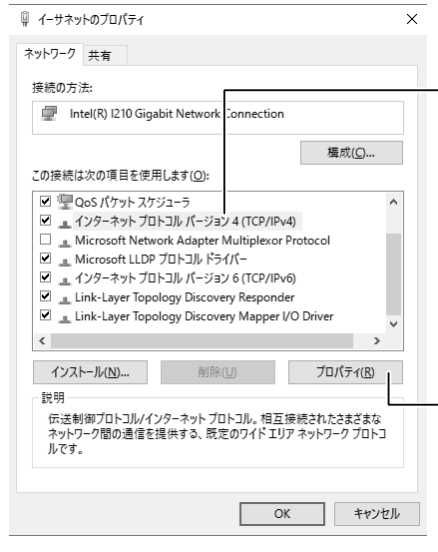
3



①設定するイーサネットを右クリック

②［プロパティ］をクリック

4



①［インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)］を選ぶ

※ IPv6 設定をおこなう場合は、［インターネットプロトコルバージョン 6(TCP/IPv6)］を選びます。

②［プロパティ］をクリック

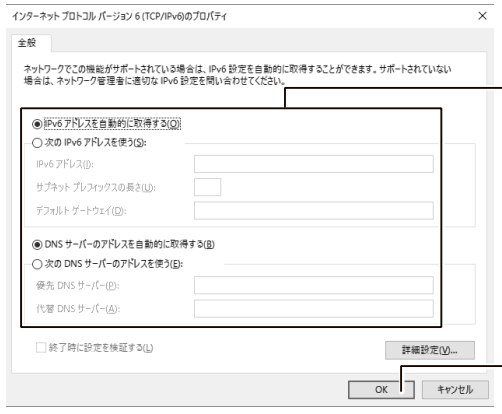
5



① IP アドレスを設定する

② [OK] をクリック

IPv6 の場合



① IP アドレスを設定する

② [OK] をクリック

以上で、設定は完了です。

コンピューター名 / ドメイン名の設定を確認する

1 [サーバーマネージャー] を開く

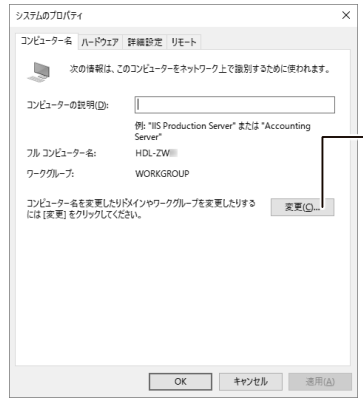
2



① [ローカルサーバー] をクリック

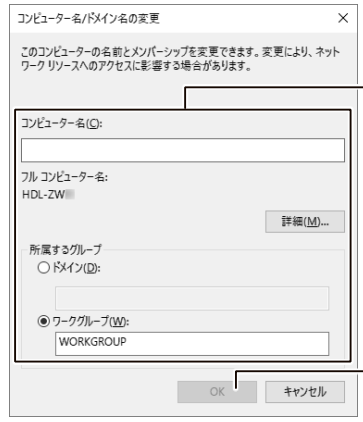
② [コンピューター名] 横のリンクをクリック

3



[変更] をクリック

4



①必要に応じて設定を変更する

② [OK] をクリック

このあと、画面の指示にしたがって本製品を再起動します。
以上で設定は完了です。

Windows Update を実行する

Windows Update では、本製品にインストールされている OS の既知の脆弱性に対する最新のセキュリティパッチがインストールされます。
必ずはじめにおこなってください。

ご注意

●本手順は、本製品がインターネットにアクセスできる環境にある必要があります。

1 [サーバーマネージャー] を開く

2



3



更新がある場合は、[更新プログラムのチェック] をクリック

更新プログラムのダウンロード、インストールが実行されますのでしばらくお待ちください。
以上で、初期設定は完了です。

機能について詳しくはヘルプをご覧ください

本書に記載のない機能など詳しくは、[スタート] → [ヘルプとサポート] をご覧ください。

Windows Server IoT 2019 for Storage のアップデート情報について

下記弊社 Web ページにてご案内しております。
https://www.iodata.jp/support/product/windowsupdate/wss2019/

ステップ 5　LTV-Sign の初期設定

LTV-Sign（タイムスタンプ専用 for Storage）は、設定された監視フォルダーに作成されたファイルを検知し、電子署名を付与します。
また、手動でも選択した PDF ファイルなどに対して電子署名を付与することができます。
自動・手動にかかわらず PDF ファイル以外に対しては頭紙として PDF ファイルを利用することで電子署名が付与されます。

LTV-Sign について

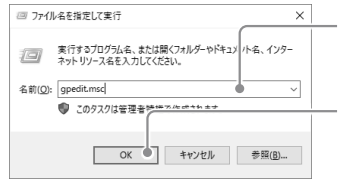
本製品にインストール済みの LTV-Sign は本製品専用の LTV-Sign です。
以降、LTV-Sign（タイムスタンプ専用 for Storage）と表記します。
LTV-Sign（タイムスタンプ専用 for Storage）の使い方については、以下のヘルプをご覧ください。
https://www.iodata.jp/lib/manual/ltv-sign-r/

プロキシ設定をおこなう

インターネット接続の際にプロキシを使用する場合は、事前に以下の設定をおこなってください。

1 [スタート] → [Windows システムアプリ] → [ファイル名を指定して実行] をクリック

2



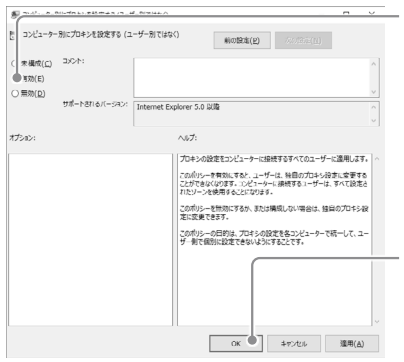
3



①以下の順にクリック
［コンピューターの構成］→
［管理用テンプレート］→
［Windows コンポーネント］→
［Internet Explorer］

②［コンピューター別にプロキシを設定する（ユーザー別ではなく）］をダブルクリック

4



①［有効］を選ぶ

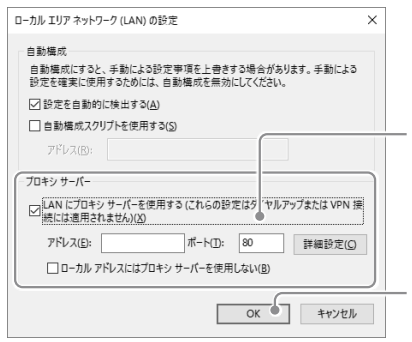
②［OK］をクリック

5 プロキシサーバーの設定をおこなう

① Internet Explorer を起動し、画面右上の ⚙［設定］→［インターネット オプション］をクリック

②［接続］タブをクリックし、［LAN の設定］をクリック

③



1）プロキシサーバーを設定する

2）［OK］をクリック

以上で、設定完了です。次ページにお進みください。

Adobe Acrobat Reader を入手し、設定する

Adobe Acrobat Reader は、本アプリの出力データの閲覧などに使用します。

インストールされていない場合は、以下からダウンロードしインストールしてください。

https://get.adobe.com/jp/reader/

● Adobe Acrobat Reader で署名済み PDF ファイルを検証するための設定

1 Acrobat Reader を起動し、メニューの［編集］→［環境設定］をクリック

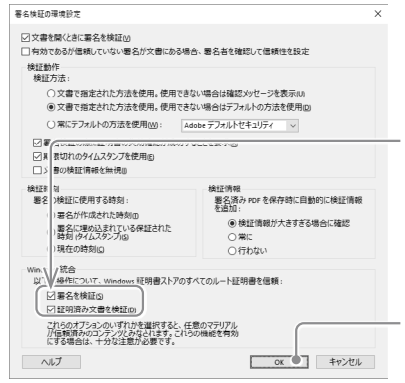
2



①［署名］をクリック

②検証の［詳細］をクリック

3



① Windows 統合の［署名を検証］と［証明済み文書を検証］にチェックをつける

②［OK］をクリック

以上で、初期設定は完了です。LTV-Sign（タイムスタンプ専用 for Storage）を起動してください。

管理ソフト「ZWS Manager」

ZWS Manager は本製品の RAID 管理、温度管理、その他設定をおこなう管理ソフトです。
ZWS Manager は本製品の起動と同時に自動的に起動します。
初期状態はタスクトレイ上に表示されています。

ご注意

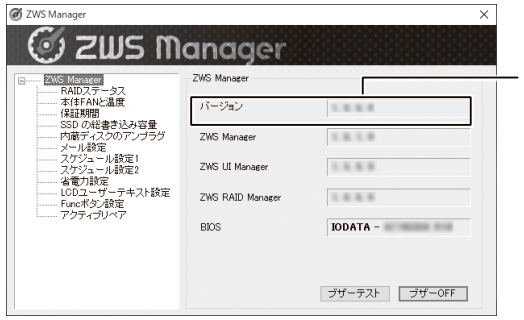
● ZWS Manager は、Administrator の権限のユーザーでログオンした場合のみ起動できます。

ZWS Manager メイン画面の表示方法



タスクトレイのアイコンをクリック

ZWS Manager のメイン画面が表示されます。
画面左側が項目、右側が詳細情報ビューです。



ZWS Manager のバージョンは、［バージョン］をご確認ください。

ZWS Manager のアップデートについて

ZWS Manager は自動アップデートに対応しております。
自動アップデートの設定は NarSuS アプリでおこないます。詳しくは、【NarSuS 設定画面】（24 ページ）をご覧ください。

ZWS Manager ヘルプ

ZWS Manager については、ZWS Manager ヘルプでご確認ください。
https://www.iodata.jp/lib/manual/zwsmanager/　スマートフォンなどでも閲覧できます。⇒

RAID 設定

本製品で設定できる RAID モード

RAID 1（出荷時設定）	すべてのハードディスクに同じデータを同時に書き込むため、万一、一方のハードディスクが故障してもデータは安全に保護されます。
RAID 0	すべてのディスクを 1 つのボリュームとして認識します。 データ保護機能はありませんが、大容量と高速性を追求したモードです。

RAID モードを変更する場合

ご注意

●作業前に、データをバックアップしてください。RAID モード変更時にデータは消去されます。
●本製品のシステム領域の RAID モードは変更できません。

本製品にインストール済みの「ZWS Manager」で設定します。

1



タスクトレイの [ZWS Manager] アイコンをクリック

2



① [RAID ステータス] をクリック
② [DATA] をクリック
③変更する RAID モードを選ぶ
④ [RAID モード変更] をクリック

選択した [RAID モード] への変更を開始します。[状態] が再構築中になります。
※ RAID 1 へ構築した場合、2TB HDD 搭載モデルで約 6 時間かかります。

これで RAID モードの変更は完了です。

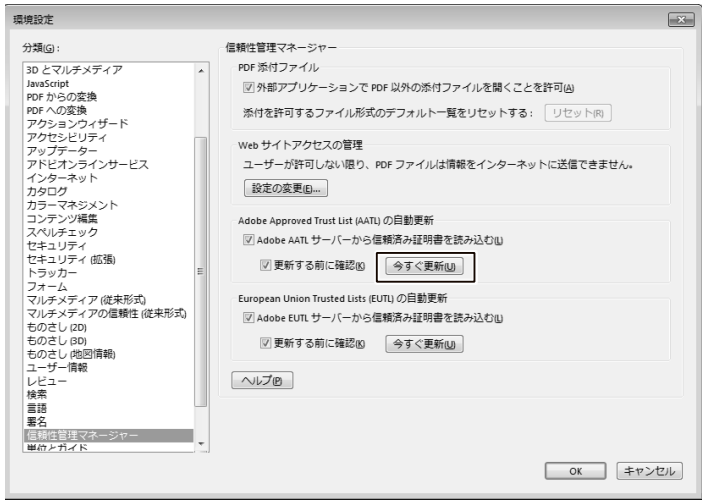
困った時には

タイムスタンプの確認（検証）に失敗する

①ご利用のパソコンがインターネットに接続されていることを確認してください。

②最新の Adobe Acrobat Reader であることをご確認ください。

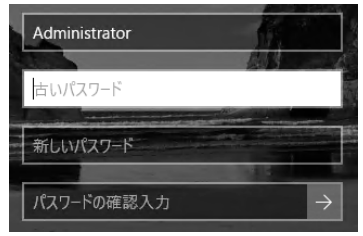
③ Adobe Acrobat Reader の [編集] → [環境設定] をクリックし、[信頼性管理マネージャー] の［Adobe Approves Trust List（AATL）の自動更新］内の［今すぐ更新］をクリックしてください。



①～③の操作をおこなった後、いったん Adobe Acrobat Reader を閉じて、再度お試しください。

Administrator のパスワードを再変更したい

初期設定時にパスワードの変更ができますが、再度変更したい場合は以下の手順にしたがってください。
① Administrator でログオンする
②キーボードの [Ctrl]+[Alt]+[End] キーを押す
※本製品にキーボード等を接続している場合は、キーボードの [Ctrl]+[Alt]+[Delete] キーを押す
③［パスワードの変更］をクリック
④パスワードを設定する



出荷時設定
出荷時のパスワードは「admin」です。
Administrator のパスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力します。

その他、困った時には

I-O DATA サポート Web ページをご確認ください。

https://www.iodata.jp/support/qa/landisk/hdl-z.htm

共有の作成と管理

共有を作成する

ご注意

本製品にはあらかじめ下記のユーザー、グループ、共有フォルダーが作成されています。

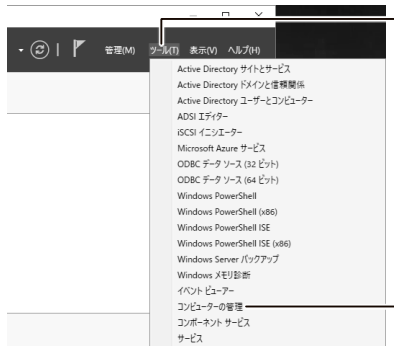
誤って削除しないようご注意ください。また、このユーザー名でログインしないでください。

ユーザー	admin　manx_admin　ituser00000 ～ ituser99999
グループ	itUserGroup　StorageAccessibleUsers
共有フォルダー	Atmos　Backup　History　ITFolder　Log　Manx　Temp

ユーザーを作成する

1 [サーバーマネージャー] を開く

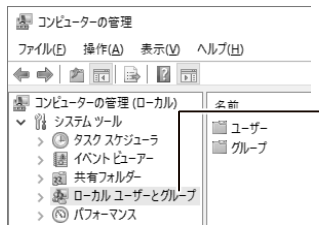
2



① [ツール] をクリック

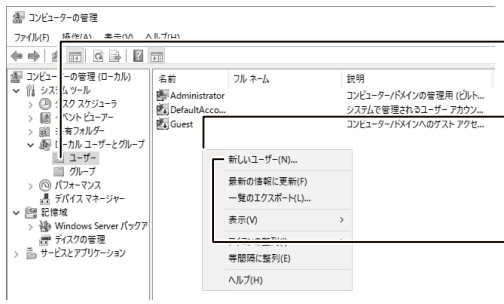
② [コンピューターの管理] をクリック

3



[ローカルユーザーとグループ] をダブルクリック

4

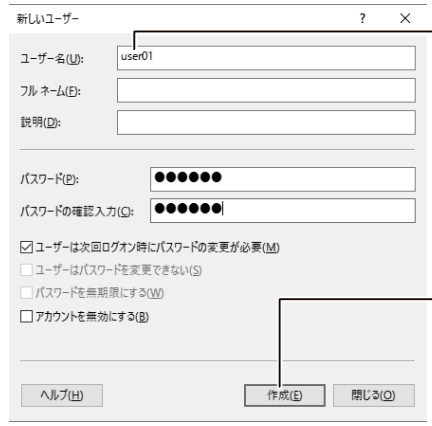


① [ユーザー] をクリック

②右側のスペースを右クリック

③［新しいユーザー］をクリック

5



① [ユーザー名] を入力

※他の項目も必要に応じて設定します。

② [作成] をクリック

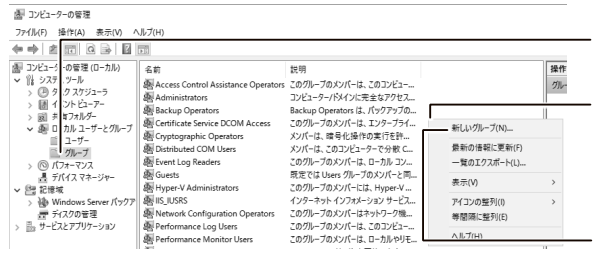
以上で、ユーザーの作成は完了です。次に必要に応じてグループを作成します。

※本製品に登録可能なユーザー数は、無制限です。

グループを作成する

1 【ユーザーを作成する】（40 ページ）の手順 1 ～ 3 を実行する

2



① [グループ] をクリック

②右側のスペースを右クリック

③［新しいグループ］をクリック

3

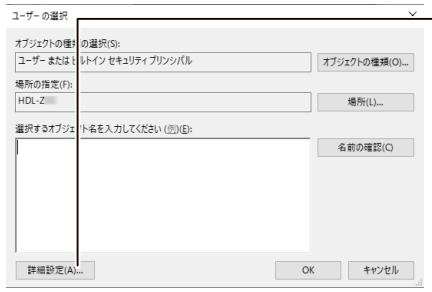


① [グループ名] を入力

※他の項目も必要に応じて設定します。

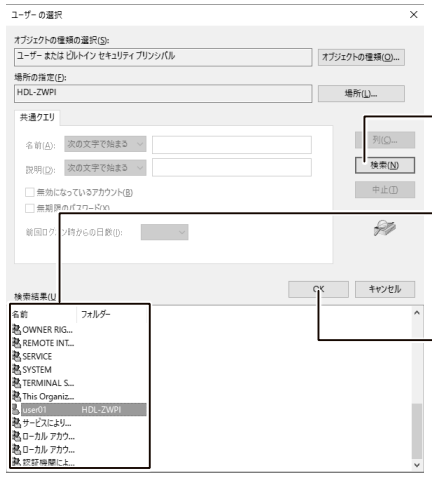
② [追加] をクリック

4



[詳細設定] をクリック

5

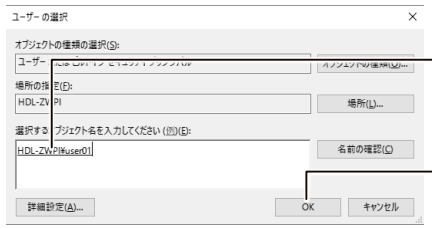


① [検索] をクリック

②グループに登録するユーザーを選択

③ [OK] をクリック

6



①選択したユーザーが表示されている
ことを確認

② [OK] をクリック

7



①選択したユーザーが表示されている
ことを確認

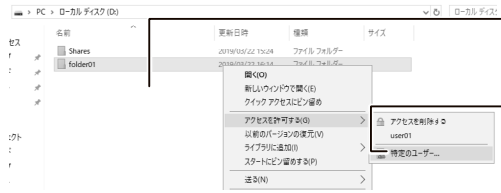
② [作成] をクリック

以上で、グループの作成は完了です。次に共有フォルダーを作成します。

共有フォルダーを作成する

1  をクリックし、共有するフォルダーを作成する

2



①フォルダーを右クリック

②［アクセスを許可する］→
［特定のユーザー］を
クリック

3



①共有するユーザーを選ぶ

※グループ名を入力することもできます。
※すべてのユーザーに読み書き可能にするには、
“Everyone”を選びます。

②［追加］をクリック

※複数追加する場合は、この操作を繰り返します。

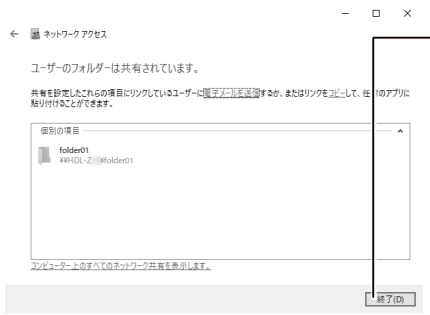
4



①アクセス許可のレベルを選ぶ

②［共有］をクリック

5



[終了] をクリック

以上で、共有フォルダーの作成は完了です。

ご注意

●本製品では、ユーザー "Guest" のアカウント初期設定は、" 無効 " になっています。すべてのユーザーからアクセス可能な共有フォルダーを作成する場合、以下の手順にて、ユーザー "Guest" のアカウントを有効にしてください。

①[サーバーマネージャー] を開き、[ツール] → [コンピューターの管理] を順にクリックします。

②[ローカルユーザーとグループ] をクリックします。

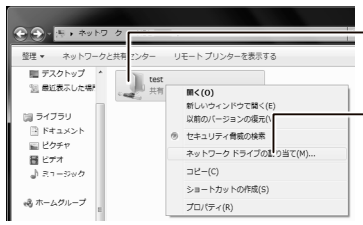
③[ユーザー] をクリックし、右側のユーザーが表示されている [Guest] を右クリックして、[プロパティ] をクリックします。

④[アカウントを無効にする] のチェックを外し、[適用] ボタンをクリックします。

ネットワークドライブの割り当て方法

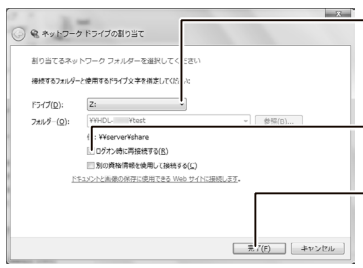
本製品をネットワーク上から参照する際に、ネットワークドライブとして割り当てておくことができます。

①ネットワークに接続されているパソコンから、本製品の共有フォルダーを表示する



②ネットワークドライブとして割り当てる共有フォルダーを右クリック

③[ネットワークドライブの割り当て] をクリック



④本製品に割り当てる文字を選ぶ

⑤[ログオン時に再接続する] にチェック

⑥[完了] をクリック

これでネットワークドライブの割り当ては完了しました。

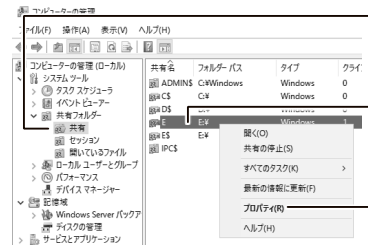
[コンピューター] などを開き、割り当てられたドライブが認識されていることをご確認ください。

ユーザー数制限

共有に一度にアクセスできるユーザー数を制限する機能です。

1 [サーバーマネージャー] を開き、
[ツール] → [コンピューターの管理] をクリック

2

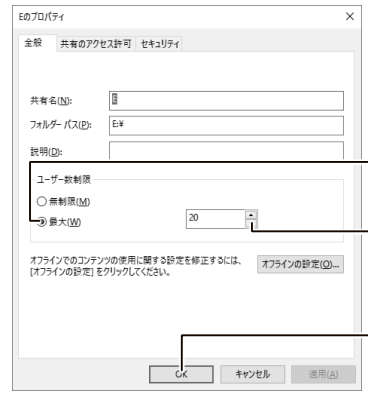


①[共有フォルダー] の [共有] を開く

②制限する共有フォルダーを右クリック

③[プロパティ] をクリック

3



①[最大] を選ぶ

②制限する人数を選ぶ

③ [OK] をクリック

以上で設定は完了です。

アクセス許可

各共有へのユーザーのアクセスレベルを設定します。

1 [サーバーマネージャー] を開き、[ファイルサービスと記憶域サービス] をクリック

2

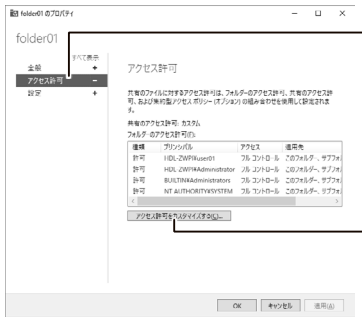


① [共有] をクリック

②アクセス許可設定をする共有フォルダーを右クリック

③ [プロパティ] をクリック

3



① [アクセス許可] をクリック

② [アクセス許可をカスタマイズする] をクリック

4



①アクセス許可設定をする

② [OK] をクリック

以上で設定は完了です。

クォータ管理

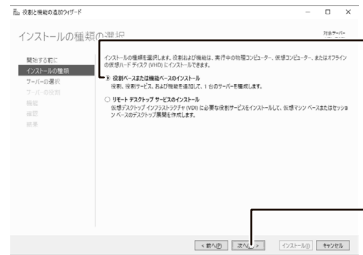
フォルダー単位で、ユーザーが使用できるディスクサイズを制限する機能です。

ファイルサーバーリソースマネージャーをインストールする

1 [サーバーマネージャー] を開き、
[ダッシュボード] → [役割と機能の追加] をクリック

2 役割と機能の追加ウィザードが起動するので、[次へ] をクリック

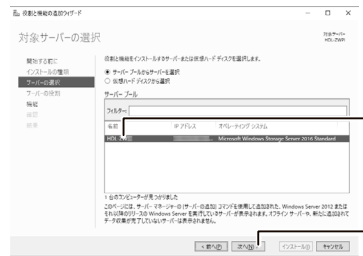
3



① [役割ベースまたは…] を選ぶ

② [次へ] をクリック

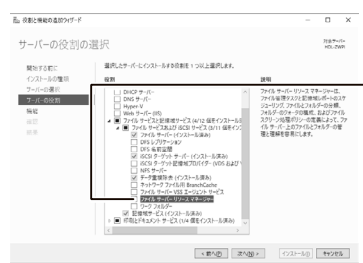
4



①インストール先の本製品を選択

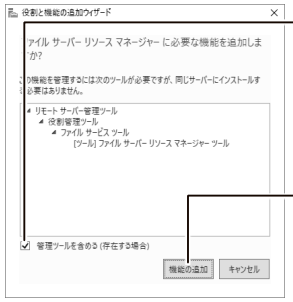
② [次へ] をクリック

5



[ファイルサービスおよび記憶域サービス] →
[ファイルサービスおよび iSCSI サービス] →
[ファイルサーバーリソースマネージャー] にチェック

6



① [管理ツールを含める] にチェック

② [機能の追加] をクリック

7 ［次へ］を2回クリックし、ウィザードを進める

8



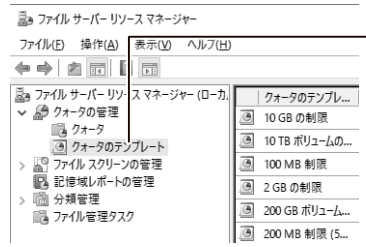
[インストール] をクリック

結果画面が表示されたら、インストールは完了です。
[閉じる] ボタンをクリックします。

クォータテンプレートを作成する

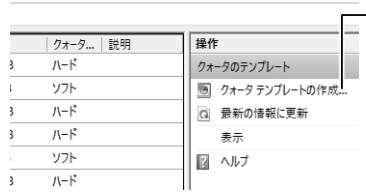
1 [サーバーマネージャー] を開き、
[ツール] → [ファイルサーバーリソースマネージャー] をクリック

2



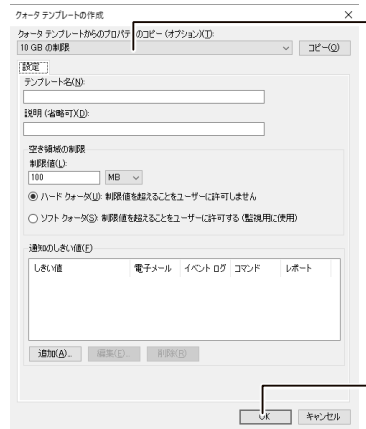
[クォータの管理] の
[クォータのテンプレート] を
開く

3



画面右側の
[クォータのテンプレートの作成]
をクリック

4



①クォータテンプレートを設定

※設定項目については、下の【クォータテンプレート項目】をご覧ください。

② [OK] をクリック

クォータテンプレート項目

テンプレート名	任意の名前を入力します。
説明	必要に応じて入力します。
空き領域の制限	制限値を入力し、[ハードクォータ] または [ソフトクォータ] を選択します。
通知のしきい値	設定したしきい値に達するとメールで通知できる機能です。[追加] ボタンをクリックし、必要に応じて設定します。

以上で設定は完了です。

クォータを作成する

1 [サーバーマネージャー] を開き、
[ファイルサービスと記憶域サービス] をクリック

2

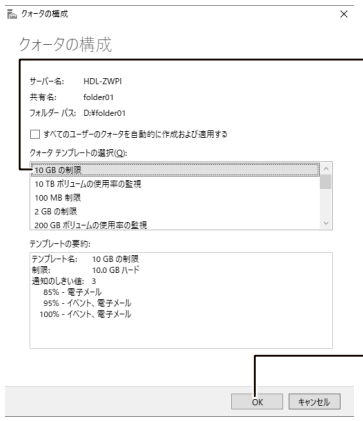


① [共有] をクリック

②クォータ設定をする共有フォルダーをクリック

③ [クォータを設定するには…] をクリック

3



①適用するテンプレートを選ぶ

② [OK] をクリック

クォータ欄に設定結果が表示されます。
以上で設定は完了です。

バックアップと回復

USB HDD を暗号化する

「BitLocker」機能を利用して、USB HDD を暗号化します。

BitLocker とは？
ドライブを暗号化する Windows 標準の機能です。
BitLocker で暗号化することにより、不正にデータが取り出されることを防ぎます。
ここでは、USB HDD の暗号化方法について説明しています。

USB HDD を BitLocker 暗号化する

1 スタートをクリックし、タイルメニューの［コントロールパネル］をクリック

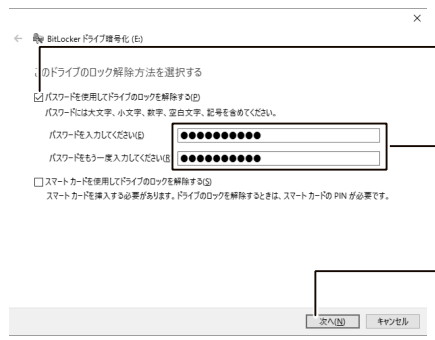
2 ［システムとセキュリティ］→［BitLocker ドライブ暗号化］をクリック

3



暗号化するドライブ横の［BitLocker を有効にする］をクリック

4



①［パスワードを使用して…］にチェック

②解除に使用するパスワードを入力

③［次へ］をクリック

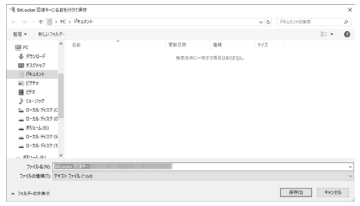
5



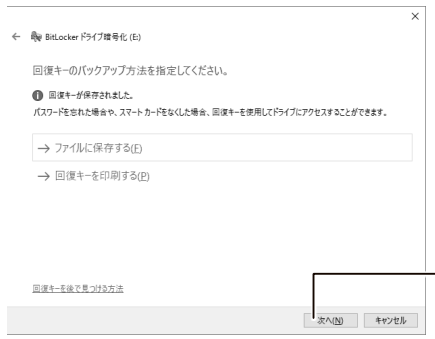
①［ファイルに保存する］をクリック

▼

②回復キーファイルの保存先を選ぶ

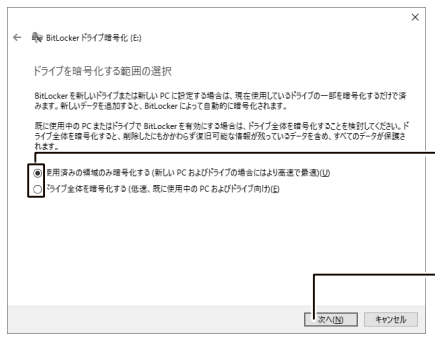


6



［次へ］をクリック

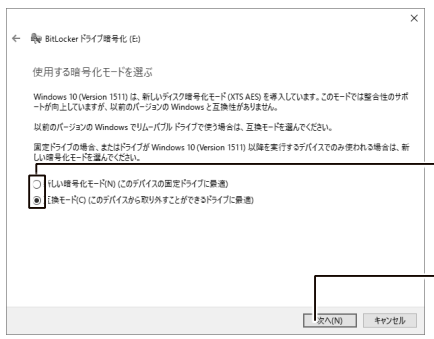
7



①暗号化範囲を選ぶ

②［次へ］をクリック

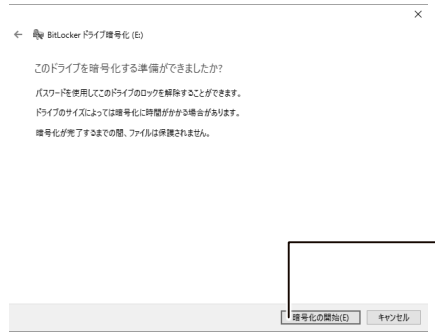
8



①暗号化モードを選ぶ

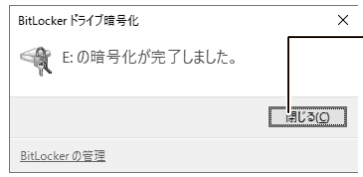
②［次へ］をクリック

9



［暗号化の開始］をクリック

10



［閉じる］をクリック

以上で BitLocker 暗号化は完了です。
このドライブにアクセスする場合は、設定したパスワードの入力が必要になります。

▼暗号化時のアイコン表示



▼暗号化解除時のアイコン表示



BitLocker 暗号化を無効にする

BitLocker 暗号化を無効にする場合は、
コントロールパネルの［BitLocker ドライブ暗号化］を開き、無効にするドライブの［BitLocker を無効にする］をクリックしてください。



バックアップと回復

万一に備えて定期的にバックアップすることをおすすめします。
ここでは、Windows 標準の Windows Server バックアップ機能を利用した方法を説明しています。
バックアップ先に利用できる対応 HDD については、【動作環境】（9 ページ）をご覧ください。

ご注意

●バックアップを実行する際に、USB HDD のフォーマットをおこないます。
事前に、必要なデータは他のドライブにコピーするなどバックアップしてください。

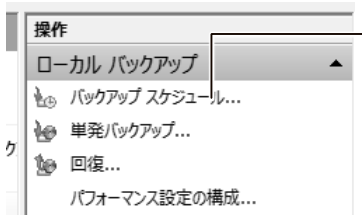
BitLocker 暗号化済みの USB HDD を利用する場合

本製品に接続された状態では、BitLocker 暗号化が解除されます。
本製品から取り外すと自動で BitLocker 暗号化が有効になります。

バックアップのスケジュール設定をする

1 [サーバーマネージャー] を開き、[ツール] → [Windows Server バックアップ] → ［ローカルバックアップ］ をクリック

2



画面右側の
[バックアップスケジュール] を
クリック

3



①バックアップ構成を選ぶ
※［サーバー全体］を選んだ場合は、手順６へお進みください。

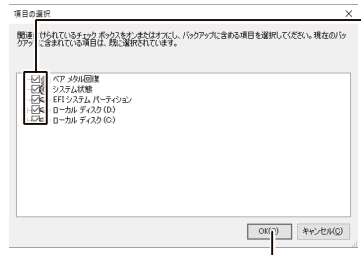
② [次へ] をクリック

4



[項目の追加] をクリック

5



①バックアップ項目を選ぶ
※次の項目を選びます。
[ベアメタル回復]、[システム状態]、
[EFI システムパーティション]、
[ローカルディスク C]、
[ローカルディスク D]（バックアップするフォルダーのみ）

② [OK] をクリック

6



内容を確認し、
[次へ] をクリック

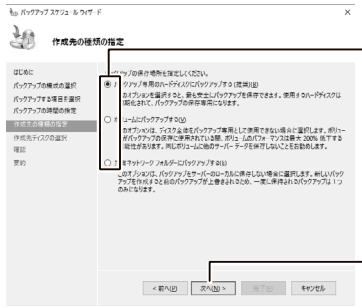
7



①バックアップ時刻と頻度を設定

② [次へ] をクリック

8



①バックアップの保存先の種類を選ぶ

②［次へ］をクリック

9



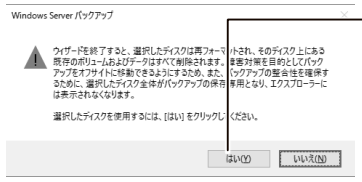
①バックアップの保存先を選ぶ

ご注意

●バックアップ先の HDD はフォーマットされます。必要なデータは、事前にバックアップしてください。

②［次へ］をクリック

10



内容を確認し、
［はい］をクリック

※外付けハードディスクはバックアップの保存専用となり、エクスプローラーには表示されなくなります。

11



内容を確認し、
［完了］をクリック

バックアップ先の HDD がフォーマットされ、バックアップスケジュールが作成されます。

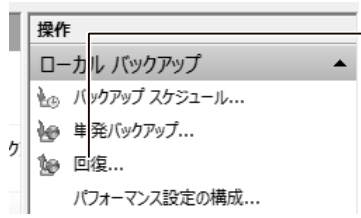
以上で設定は完了です。［閉じる］をクリックしてください。

バックアップデータから回復する

バックアップしたファイルおよびフォルダーを、本製品へ回復する方法を説明します。
バックアップデータからリカバリーする場合は、【バックアップデータから復元する場合】（70 ページ）以降をご覧ください。

1 ［サーバーマネージャー］を開き、［ツール］→［Windows Server バックアップ］→［ローカルバックアップ］をクリック

2



画面右側の［回復］をクリック

3

①バックアップデータの場所を選ぶ

②［次へ］をクリック

4



①バックアップの場所の種類を選ぶ

②［次へ］をクリック

5



①バックアップの場所を選ぶ

② [次へ] をクリック

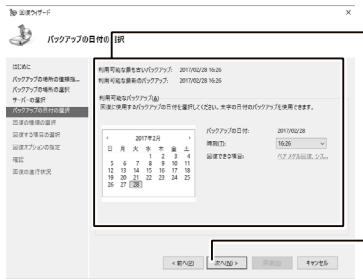
6



①復元するサーバー名を選ぶ

② [次へ] をクリック

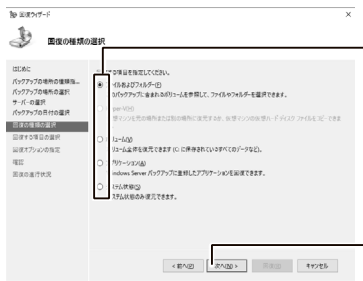
7



①回復に使うバックアップデータの時刻を選ぶ

② [次へ] をクリック

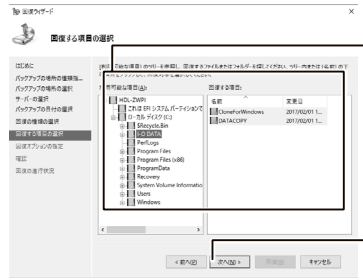
8



①バックアップの保存先の種類を選ぶ

② [次へ] をクリック

9



①回復項目を選ぶ

② [次へ] をクリック

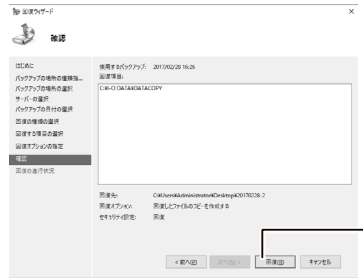
10



①回復オプションを選ぶ

② [次へ] をクリック

11



内容を確認し、
[回復] をクリック

完了すると、ウィザード内の [状態] へ完了のメッセージが表示されます。
[閉じる] をクリックし、復元されたファイルまたはフォルダーを確認してください。

ディスクとボリュームの活用

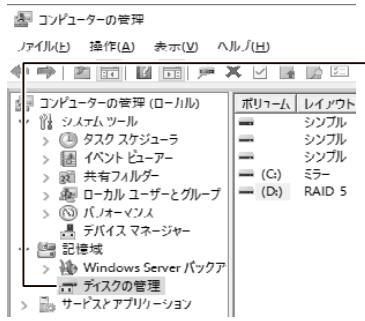
フォーマット

ご注意

●フォーマットを実行すると、ディスク内のデータはすべて消去されます。必要なデータがある場合は、フォーマットする前に必ずバックアップしてください。

1 [サーバーマネージャー] を開き、
[ツール] → [コンピューターの管理] をクリック

2



[ディスクの管理] をクリック

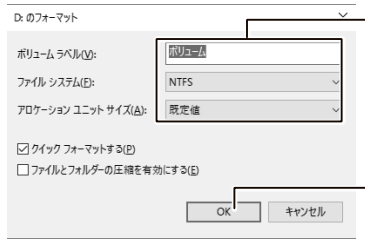
3



①フォーマットするボリュームを右クリック

②[フォーマット] をクリック

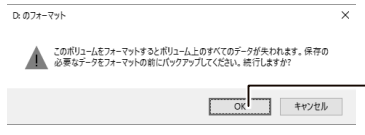
4



①必要に応じて変更

② [OK] をクリック

5



[OK] をクリック

フォーマットを開始します。

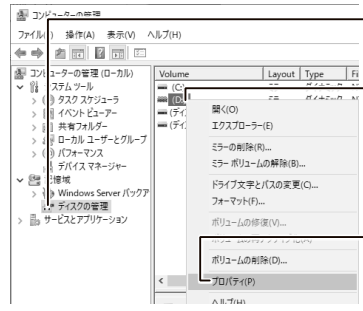
シャドウコピー設定

シャドウコピーは、ファイルが使用中かどうかに関わらず、その状態のコピーを作成する機能です。シャドウコピーしたデータを利用してファイルの復元などをおこなうことができます。

シャドウコピーを設定する

1 [サーバーマネージャー] を開き、[ツール] → [コンピューターの管理] をクリック

2

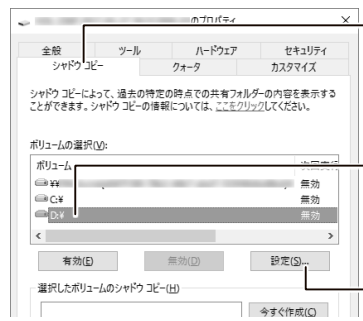


① [ディスクの管理] をクリック

②シャドウコピーを作成するボリュームを右クリック

③ [プロパティ] をクリック

3

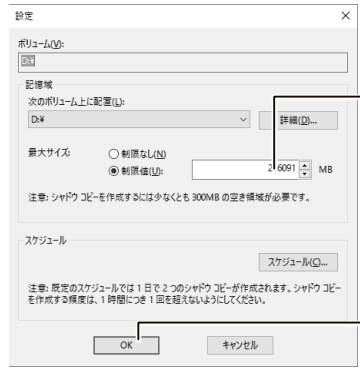


① [シャドウコピー] をクリック

②シャドウコピー設定するボリュームを選ぶ

③ [設定] をクリック

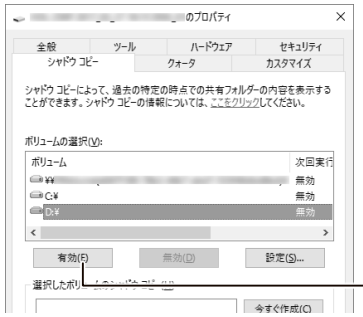
4



①シャドウコピーの最大サイズを設定

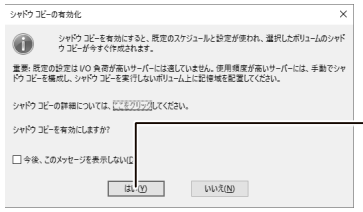
② [OK] をクリック

5



[有効] をクリック

6



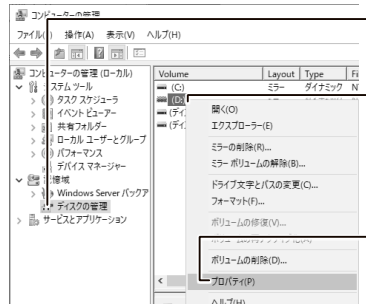
[はい] をクリック

以上で設定は完了です。

シャドウコピーから復元する

1 [サーバーマネージャー] を開き、[ツール] → [コンピューターの管理] をクリック

2

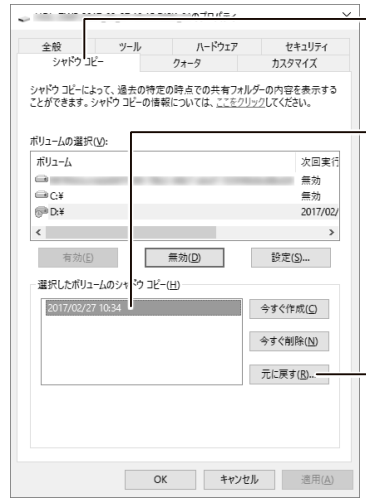


① [ディスクの管理] をクリック

②復元するボリュームを右クリック

③ [プロパティ] をクリック

3



① [シャドウコピー] をクリック

②復元する日時を選ぶ

③ [元に戻す] をクリック

ご注意

- ●復元すると、選択した日時より後におこなわれたシャドウコピーはすべて削除されます。
- ●復元を開始後は、途中でキャンセルできません。

4



① [このボリュームを元に…] にチェック

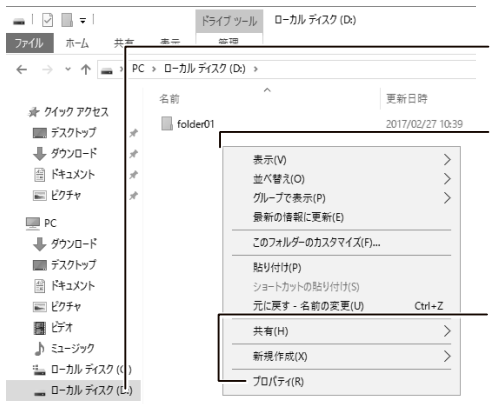
② [今すぐ元に戻す] をクリック

以上で復元は完了です。

ファイル単位で復元する

1 をクリック

2

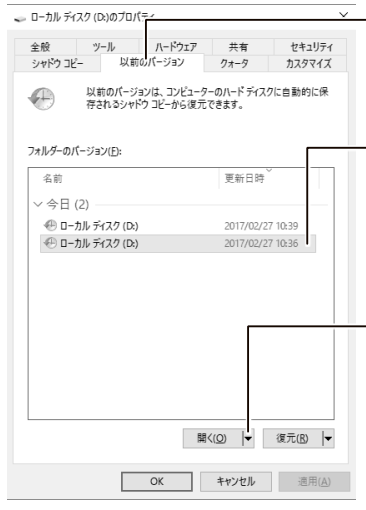


①復元するファイルがある
ドライブを開く

②空白部分を右クリック

③［プロパティ］をクリック

3



①［以前のバージョン］を
クリック

②復元するファイルが含まれたバー
ジョンを選ぶ

③［開く］をクリック

フォルダーが開きますので、ファイルをコピー＆ペーストすると復元できます。

ファイルを探す

全文検索機能

本製品に保存されたファイルの内容までを検索する機能です。
エクスプローラーで本製品を開き、検索することができます。



①本製品を開く

②検索する

検索可能ファイルの確認方法

Windows のインデックスで確認することができます。
※インデックスには、ファイル名や更新日時など各ファイルの詳細情報が記録されています。
下記手順でご確認ください。
① Windows の［スタート］をクリックし、［設定］をクリック
②［検索］をクリック
③画面左の［Windows の検索］をクリックし、［詳細検索インデクサーの設定］をクリック

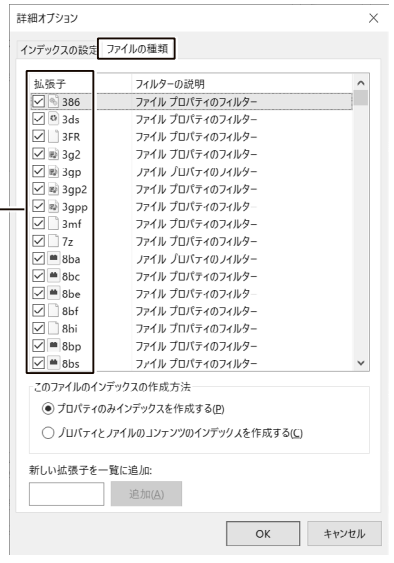


④［詳細設定］をクリック



⑤［ファイルの種類］タブをクリック

チェックのついている拡張子が検索対象のファイルです。



ウイルススキャン

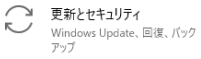
Windows セキュリティ

Windows 標準のセキュリティ機能「Windows セキュリティ」を使用してスキャンします。出荷時設定で、リアルタイムスキャンが有効になっています。
手動でスキャンする場合は、以下の方法でおこなってください。

1

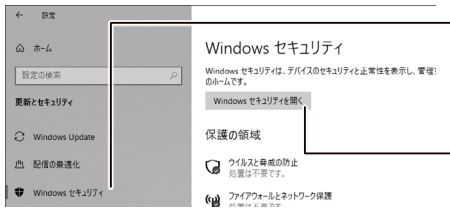


① ［スタート］→［設定］をクリック



② ［更新とセキュリティ］をクリック

2



① [Windows セキュリティ] をクリック

② ［Windows セキュリティを開く］をクリック

3



［ウイルスと脅威の防止］をクリック

ウイルスと脅威の防止
操作は不要です。

4



［クイックスキャン］をクリック

スキャンのオプション

［スキャンのオプション］では、スキャン方法を変更することができます。

クイックスキャン	コンピューターの重要な部分のみをスキャンします。［フル］より短時間で完了します。
フルスキャン	コンピューターのすべてのファイルをスキャンします。
カスタムスキャン	場所を選んでスキャンします。

スキャンが開始されます。

故障時の対応

故障と思ったら…

故障したカートリッジのディスクランプは赤点灯します。
本製品の各ディスクランプをご確認の上、カートリッジを交換してください。

カテゴリ	STATUS	ディスク	ブザー※	動作内容	対処
通常稼動時	緑点灯	青点灯	なし	通常稼動	―
RAID 再構築	緑点滅	青点滅	ピロッ	RAID 再構築中のとき	RAID を再構築中です。再構築が完了するまでカートリッジの抜き差しを行わないでください。
エラー	赤点滅	該当ディスク赤点灯	ピッピッ、ピッピッ・・・	デグレード発生時	至急ボリュームのバックアップを取ってください。構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。
	赤点滅	全ディスク赤点灯	ピーポー、ピーポー・・・	RAID 崩壊時	至急ボリュームのバックアップを取ってください。ボリュームに対してチェックディスクを実行し、ファイルシステムに問題がないことを確認してください。ログ・メールより構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。ボリュームにアクセスできなくなった場合は、ボリュームを再構築してください。
	赤点灯	全ディスク赤点灯	なし	起動ディスクがない時	起動ディスクが接続されていません。カートリッジが正常に接続されていることを確認してください。
	赤点灯	青点灯	なし	温度異常の時	設置環境を確認し、FAN からの排熱が逃げ易い環境であることを確認してください。温度異常を検知したら自動的に電源が切れますので、再起動後に再び同じ現象が起きたら FAN が正常に稼動していることを確認してください。
ボリューム不正	緑点滅	青点滅	ピー、ピー、ピー・・・	ボリューム不正時	ボリュームの状態が製品として想定外の不正な状態になっています。例えば、内蔵ディスクに C ドライブ、D ドライブ以外のボリュームが設定されている場合などに本状態となります。原因がご不明な場合は弊社サポートセンターにお問合せください。

※ RAID 状態に変化があったときにブザーが鳴ります。ブザー音が鳴った場合、Func ボタンを押す、または、ZWS Manager 上で [ブザー OFF] をクリックするとブザーが停止します。

故障の場合は…

【オンサイト保守パック サービス内容 / ご利用規約】（81 ページ）をご確認いただき、ISS にお問い合わせください。

システムリカバリーする

ご注意

- ●システムリカバリーをおこなうと、選択したモードによっては、本製品のシステムドライブ（C:）およびデータ領域は完全に出荷時の状態に戻ります。保存されていたデータや、設定情報はすべて失われますので、必ず事前にバックアップしてください。
- ●システムリカバリー後、システム領域および選択したモードによってはデータ領域の再構築がおこなわれます。
- ●システムリカバリーは、必ずすべてのカートリッジが取り付けられた状態でおこなってください。
- ●システムリカバリーをおこなうためには、添付のリカバリー USB メモリーが必要です。リカバリー USB メモリーの ISO イメージは、弊社 IOPortal からダウンロードできます。方法は、【ソフトウェアのダウンロード方法】（72 ページ）をご覧ください。

準備するもの

①次の機材を用意します。
・HDMI ディスプレイ
・USB キーボード、USB マウス
・添付のリカバリー USB メモリー

②本製品の電源を OFF にしてから、以下の機材を本製品に接続します。
※以下の機器以外は接続しないでください。
・HDMI ディスプレイを背面の HDMI コネクターに接続する
・USB キーボード、USB マウスを背面の USB ポートに接続する
・リカバリー USB メモリーを前面の USB ポートに接続する

・出荷時状態に戻す場合は、
【出荷時状態に戻す場合】（69 ページ）をご覧ください。

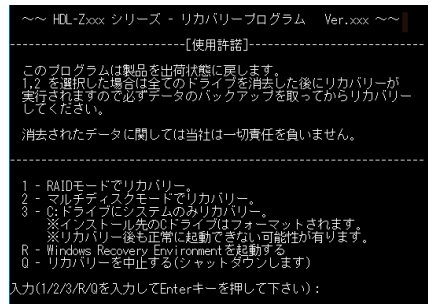
・USB HDD に保存したバックアップデータから復元する場合は、
【バックアップデータから復元する場合】（70 ページ）をご覧ください。

出荷時状態に戻す場合

1 前面の USB ポートにリカバリー USB メモリーをセットし、本製品の電源を入れる
リカバリープログラムが起動します。

エラーでリカバリーできない場合、リカバリープログラムが起動しない場合
● BIOS 設定の変更が必要な場合があります。
以下の手順で BIOS 設定を変更してください。
①本製品の電源投入直後より、[Delete] キーを押しつづけて、BIOS 設定画面を起動する
②カーソルキーで [Boot] を選ぶ
③カーソルキーで [Boot Option #1] を選び、Enter キーを押す
④ [USB Device N: XXX] を選び、Enter キーを押す
（N はスロット番号、XXX は USB メモリーのメーカー名とモデル名）
⑤カーソルキーで［Save & Exit］→［Save Changes and Exit］→［YES］を選び、Enter キーを押す
以上で BIOS 設定は変更されました。上記の手順 1 より再度実行してください。

2



［1］キーを押し、Enter キーを押す
[1 - RAID モードでリカバリー] をおこないます。

3 「本当にリカバリーを実行してもよろしいですか？（yes/no）」と表示されたら“yes”と入力し、Enter キーを押す
→リカバリーを開始します。リカバリーが完了するまでしばらくお待ちください。
※選択をやり直す場合は、“no”を入力してください。

4 完了のメッセージが表示されたら、リカバリー USB メモリーを取り外し、何かキーを押す

再起動後、システム領域にリビルドがおこなわれます。
※リビルド中は本製品の操作・動作が遅くなります。

ご注意

- ● Windows の初期化作業のため、起動するまでに何度か自動的に再起動します。
- ● [1 - RAID モードでリカバリー] を行った場合、Windows 起動後にデータボリュームの生成をおこないます。データボリュームの生成には、RAID のリビルド作業を伴います。

バックアップデータから復元する場合

1 バックアップデータが保存された USB HDD を本製品につなぐ

2 前面の USB ポートにリカバリー USB メモリーをセットし、本製品の電源を入れる

リカバリープログラムが起動します。

エラーでリカバリーできない場合、リカバリープログラムが起動しない場合

● BIOS 設定の変更が必要な場合があります。

以下の手順で BIOS 設定を変更してください。

①本製品の電源投入直後より、[Delete] キーを押しつづけて、BIOS 設定画面を起動する

②カーソルキーで [Boot] を選ぶ

③カーソルキーで [Boot Option #1] を選び、Enter キーを押す

④ [USB Device N: XXX] を選び、Enter キーを押す

（N はスロット番号、XXX は USB メモリーのメーカー名とモデル名）

⑤カーソルキーで［Save & Exit］→［Save Changes and Exit］→［YES］を選び、Enter キーを押す

以上で BIOS 設定は変更されました。上記の手順 1 より再度実行してください。

3 “R” と入力し、Enter キーを押す

※［R - Windows Recovery Environment を起動する］を選びます。

4 「キーボードレイアウトの選択」で、[Microsoft IME] をクリック

5 「オプションの選択」で、[トラブルシューティング] をクリック

※リカバリープログラムがドライブ C: に Windows システムを発見した場合、[続行] と表示されます。[続行] をクリックすると、リカバリープログラムを終了して、Windows を起動します。

6 「詳細オプション」で、[イメージでシステムを回復] をクリック

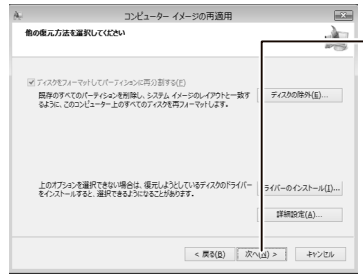
7 OS 選択が表示された場合は、[Windows Server] をクリック

8



[次へ] をクリック

9



[次へ] をクリック

※バックアップ時と同じ個体に対してリカバリーをおこなう場合、チェックを外します。

※バックアップ時とは別の個体に対してリカバリーをおこなう場合、チェックを入れます。

※チェックができない場合は、ハードディスクに対して Diskpart の clean コマンドを実施してください。

Diskpart の clean コマンドの実施方法

① USB HDD などの機器を取り外す

※誤って対象以外のディスクを消去しないためです。

②リカバリーメディアからコマンドプロンプトを起動する

※［詳細オプション］（前ページ手順 5）で［コマンドプロンプト］を選択します。

③ diskpart　と入力し、[Enter] キーを押す

④ list disk　と入力し、[Enter] キーを押す

⑤すべてのカートリッジのディスク番号を確認

⑥ sel disk x(x は⑤で確認した番号) と入力し、[Enter] キーを押す

⑦ detail disk と入力し、[Enter] キーを押す（目的のディスクであることを確認）

⑧ clean と入力し、[Enter] キーを押す

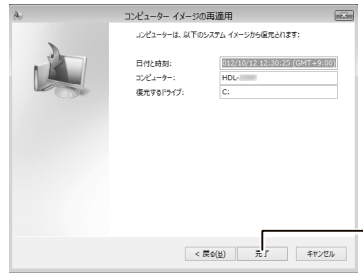
⑨ ⑥～⑧を繰り返し、すべてのカートリッジで clean を実行する

⑩ exit と入力し、[Enter] キーを押す

⑪本製品をシャットダウンし、手順 2 ～ 10 をおこなう

※チェックはグレーアウトしていますが、そのまま [次へ] をクリックしてください。

10



[完了] をクリック

11



内容を確認し、
[はい] をクリック

ご注意

● [はい] をクリックすると、現在のディスク内容はすべて消去され、バックアップされていたイメージに置き換わります。

以上で復元処理は完了です。復元後は自動的に再起動しますので、リカバリー USB メモリーを抜いてお待ちください。

ソフトウェアのダウンロード方法

1 以下の Web ページにアクセスする
https://ioportal.iodata.jp/

ソフトウェアをダウンロードするため、ユーザー登録してください
ユーザー登録後、本製品のシリアル番号を登録することで、ソフトウェアをダウンロードできます。

2



IOPortal へログイン

はじめて登録する場合
[新規会員登録へ] をクリックし、
画面の指示にしたがってください。

3



[製品を登録する] をクリック

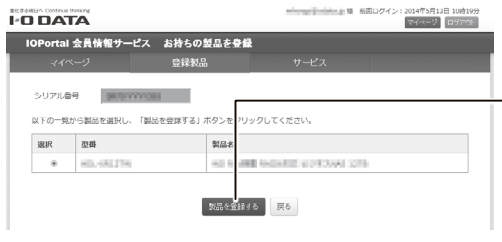
4



①本製品のシリアル番号を
入力

②［製品を登録する］を
クリック

5



内容を確認して、
[製品を登録する] をクリック

6



[登録製品の一覧へ戻る] を
クリック

7



目的のソフトウェアの
[ダウンロード] をクリック

8



ここで画面で見るマニュアルが
ダウンロードできます。

お使いの OS をクリック

9



[ダウンロード] をクリック

これでソフトウェアのダウンロードは完了です。

資料

出荷時設定

コンピューター名	APX-INFT
ワークグループ名	WORKGROUP
IP アドレス	自動取得
DNS サーバーアドレス	自動取得
RAID 状態	RAID1

タイムスタンプ仕様

利用タイムスタンプ	セイコータイムスタンプサービス　Accredited Type A2
利用電子署名	PDF 長期署名（PAdES）
有効期間	10 年
電子署名可能なファイル	PDF 署名できるファイルには以下の制限があります。 ・署名可能な PDF の最大サイズ：350MB ・添付可能なファイルの最大サイズ：195MB ・添付可能なファイル数：20 ・添付ファイルの合計サイズ：350MB ※本製品では、PDF 以外のファイルは PDF 頭紙（台紙）の添付ファイルとして扱われます。

ZWS Manager のログ、メール一覧

Windows のイベントビューアーにも記録されます
各種イベントログは、Windows の [サーバーマネージャー] を開き、[ツール] → [イベントビューアー] をクリックし、イベントビューアーの［Windows ログ］→［Application］内に「ソース名：ZWSRAID」で記録されます。

ログ・メール内容	メールタイトル	概要	対処
内蔵スロット x のディスクにエラーが検出されました。 システムを再起動しても再度エラーが検出される場合は、ディスクに致命的なエラーが発生している可能性があるため、至急交換してください。 (x は、1 ～ 2)	ディスクエラー	内蔵スロット x のディスクが「エラー」状態になった。 (x は、1 ～ 2)	至急システムボリュームおよびデータボリュームのバックアップを取ってください。 システムボリュームおよびデータボリュームに対してチェックディスクを実行してファイルシステムに問題がないことを確認してください。 システムを再起動可能な場合は、再起動を行ってエラーが消えるか確認してください。 内蔵スロット x のディスクを交換してください。 ZWS Manager からアンプラグできない場合は、システムの電源を切ってから交換してください。(x は、1 ～ 2)
システムボリューム上にエラーが検出されました。	ボリュームエラー	システムボリュームの状態が「失敗」となった。 システムボリュームの情報が「危険」となった。	至急システムボリュームのバックアップを取ってください。 システムボリュームに対してチェックディスクを実行してファイルシステムに問題がないことを確認してください。 構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。 システムが起動不能となった場合は、システムのリストアを行ってください。
データボリューム上にエラーが検出されました。	ボリュームエラー	データボリュームの状態が「失敗」となった。 データボリュームの情報が「危険」となった。	至急データボリュームのバックアップを取ってください。 データボリュームに対してチェックディスクを実行してファイルシステムに問題がないことを確認してください。 構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。 データボリュームにアクセスできなくなった場合は、データボリュームを再構築してください。
システムボリュームの冗長性が失われています。	ボリュームエラー	システムボリュームの状態が「冗長の失敗」となった。	至急システムボリュームのバックアップを取ってください。 構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。
データボリュームの冗長性が失われています。	ボリュームエラー	データボリュームの状態が「冗長の失敗」となった。	至急データボリュームのバックアップを取ってください。 構成ディスクにエラーがある場合は、そのディスクを新しいものに交換してください。
システムボリュームの再構築が開始されました。	ボリューム情報	システムボリュームの状態が「再構築中」となった	システムボリュームの状況を確認してください。
データボリュームの再構築が開始されました。	ボリューム情報	データボリュームの状態が「再構築中」となった。	データボリュームの状況を確認してください。

ログ・メール内容	メールタイトル	概要	対処
システムボリュームの再構築が完了しました。	ボリューム情報	システムボリュームの状態が（「正常」以外の状態から）「正常」となった。	システムボリュームの状況を確認してください。
データボリュームの再構築が完了しました。	ボリューム情報	データボリュームの状態が（「正常」以外の状態から）「正常」となった。	データボリュームの状況を確認してください。
ZWS RAID Manager で管理できない状態です。	（メールなし）	内蔵ディスク上にボリュームが 3 個以上存在する。	内蔵ディスク上にシステムボリュームと、データボリュームが 1 個だけ存在する状態にしてください。
本体内部の温度が仕様範囲を超えたため本体をシャットダウンしました。	温度異常	システム温度が仕様範囲を超えた。	設置環境を確認し、FAN からの排熱が逃げ易い環境であることを確認して下さい。温度異常を検知したら自動的に電源が切れますので、再起動後に再び同じ現象が起きたら FAN が正常に稼動していることを確認してください。
ファンの回転数が仕様範囲を下回ったため本体をシャットダウンしました。	ファン回転異常	NAS 本体に付属の FAN の回転数が仕様範囲を下回った。	FAN が正常に稼動していることを確認し、異常があれば修理してください。
Func ボタンが押され登録されているコマンド xxx が実行されました。（xxx は登録したコマンド）	（メールなし）	Func. ボタンが有効で、Func. ボタンが押された。	Func ボタン機能が有効の場合は、Func . ボタンを 3 秒以上押すと登録したコマンドが実行されますので、登録されたコマンドが実行されたことを確認してください。

アクティブリペア関連のログ、メール一覧

表示内容	説明	イベントログ	メール	NarSuS
手動操作によるアクティブリペアを開始しました。	「今すぐ実行」ボタンによりよるアクティブリペアを開始された。	あり	あり	あり
スケジュール実行によるアクティブリペアを開始しました。	スケジュール実行によるアクティブリペアを開始された。	あり	あり	あり
システムボリュームのアクティブリペアを開始しました。	システムボリュームのアクティブリペアを開始した。	あり	あり	あり
データボリュームのアクティブリペアを開始しました。	データボリュームのアクティブリペアを開始した。	あり	あり	あり
システムボリュームのアクティブリペアが完了しました。	システムボリュームのアクティブリペアが完了した。	あり	あり	あり
データボリュームのアクティブリペアが完了しました。	データボリュームのアクティブリペアが完了した。	あり	あり	あり
アクティブリペアが中断されました。	「停止」ボタン、NAS 再起動などによりアクティブリペアが中断された。	あり	あり	なし
アクティブリペア実行中にシステムボリュームで修復不可能なセクタが検出されました。 アクティブリペアを終了します。	アクティブリペア実行中にシステムボリュームの見つかった不良セクタの修復を試みた修復できなかった。	あり	あり	あり
アクティブリペア実行中にデータボリュームで修復不可能なセクタが検出されました。 アクティブリペアを終了します。	アクティブリペア実行中にデータボリュームの見つかった不良セクタの修復を試みた修復できなかった。	あり	あり	あり
システムボリュームのアクティブリペアに失敗しました。	システムボリュームのアクティブリペア実行中に問題が発生したのでエラー終了した。	あり	あり	あり
データボリュームのアクティブリペアに失敗しました。	データボリュームのアクティブリペア実行中に問題が発生したのでエラー終了した。	あり	あり	あり

アフターサービス

RICOH e-Sharing サービスのお問い合わせ

下記 Web ページからお問い合わせお願いします。

● RICOH e-Sharing サービス

https://www.ricoh.co.jp/service/e-sharing-service

重要

- 本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。
- 個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー（https://www.iodata.jp/privacy.htm）に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

故障時のお問い合わせ

お問い合わせ方法

よくあるご質問、マニュアル、最新ソフトウェア

https://www.iodata.jp/lib/

電話でのお問い合わせ

050-3000-6569

受付 9：00～17：00 月～金曜日（祝祭日・年末年始・夏期休業期間をのぞく）

※お問い合わせいただく際は、商品の型番、シリアル番号（S/N）をご用意ください。

メールでのお問い合わせ

https://contact.iodata.jp/sp/inquiry/landisk/corporate

修理について

修理の流れ

保証期間**3**年間

①	②	③	④	⑤	⑥
修理申込 (申込番号発行)	修理センター に送付	検査	有償時のみ 見積連絡	修理	修理品 返送

①Webで修理申込

【重要】修理申込をおこなうと、申込番号が発行されます。

https://www.iodata.jp/support/after/repair/

※Webページから修理申込がおこなえない場合は、申込番号の代わりに[名前・住所・TEL(FAX)・E-Mail・症状]を書いたメモを商品に同梱してお送りください。

②修理センターに送付

- □ 商品一式
- □ 申込番号を書いたメモ(Web申込時に発行された番号)
- □ レシートや納品書など、購入日を示すもの

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
(株)アイ・オー・データ機器 修理センター宛
TEL 076-260-3617

※紛失をさけるため宅配便でお送りください。
※送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。
※厳重に梱包してください。弊社到着までに破損すると有料修理となる場合があります。
※液晶ディスプレイ製品の場合、パネル部分を持つとパネル内部が破損します。取扱いには、充分注意してください。
※修理の進捗状況は上記Webページでご確認いただけます。(申込番号で検索)

オンサイト保守パック サービス内容 / ご利用規約

オンサイト保守パック サービス内容

1．対象製品
弊社ホームページ（https://www.iodata.jp/iss/）で、オンサイト保守パックの対象としてご案内する製品

2．ご利用の際の注意事項
・対象製品のご購入から登録期限内に、オンライン登録ページからお申し込みを行う必要があります。
・サービス開始日は、対象製品のご購入日が起算日となり、延長パックの場合は、既存登録の保守終了日が起算日となります。
・本サービスの利用期間は、弊社ホームページでご案内する実施可能期間まで、1年単位で延長できます。
・本サービスの利用期間中に、解約のお申し出をされても、本サービス料金は返還されません。
・対象製品は新品ハードウェア製品に限り、中古品、アウトレット品、同梱ソフトウェア、添付品等は対象外です。
・対象製品およびご購入された保守パックの型番によっては、データ復旧サービス特約、NarSuS 見守り、リモートサポートが対象外となっている場合があります。事前に弊社ホームページをご確認ください。

3．サービス内容
(1) オンサイト
弊社スタッフがお客様を訪問し、対象製品の交換および簡単な接続テストを行うサービスです。
原則として翌営業日にオンサイトの実施をしますが、以下の場合は翌営業日の実施ができません。翌営業日の実施ができない場合は、日程調整をさせていただきます。
①オンサイトの確定が 15 時以降の場合
②訪問場所（オンサイト現地）が本州以外の場合や離島の場合
③代替品が、訪問場所（オンサイト現地）に届かないと判断した場合
④その他、弊社ホームページでご案内する場合
※弊社が指定する UPS 商品のオンサイト（ISS-UPS-PR シリーズ）に関しては最短で 2 営業日後の実施となります。ただし、NarSuS により UPS 商品の不具合状況が確認できていることが条件となります。

(2) デリバリィ
不具合製品の代替品をお客様に送付し、不具合製品を引き取るサービスです。
※「HDD 返却不要タイプ」の場合、不具合状況確認のため、事前に対象製品のログ送付が必要です。ただし、NarSuS で対象製品の不具合状況が確認できる場合は、ログ送付は不要です。
※弊社が指定する UPS 商品のデリバリィ (ISS-UPS-PR シリーズ) に関しては最短で 2 営業日後のお届けとなります。ただし、NarSuS により UPS 商品の不具合状況が確認できていることが条件となります。

(3) センドバック（「HDD 返却不要タイプ」「ISS-UPS-PR シリーズ」では選択できません）
お客様から不具合製品をお送りいただき、修理した対象製品を弊社からお客様に返送するサービスです。

(4) データ復旧サービス特約（ISS-LGL-PR/PO、ISS-LG2-PR/PO、ISSR-LGT、ISSR-LGL-PO、ISS-LND-PR/PO の各シリーズのみ適用可）
不具合が発生した対象製品からデータの復旧を試みるサービスです。以下の点にご注意ください。
①データ復旧サービス特約は、データの復旧を保証するものではなく、障害の状況によっては、データの復旧ができません。また、データ復旧サービス特約は、データ消失の損害を補償するものではありません。
②現地での復旧作業を行いませんので、サービス利用時は、対象製品を弊社に送付していただきます。また、復旧作業後の対象製品は弊社で処分し、お客様に返却いたしません。
③データ復旧サービス特約を利用する場合、機器構成等の条件を満たす必要があります。詳しくは裏面のご利用規約をご確認ください。

(5) NarSuS 見守り（お申し込みされた方のみ）
NarSuS で障害が検知された場合に、弊社から連絡および障害対応をするサービスです。
障害を検知してから翌営業日を目安にお電話またはメールにてご連絡いたします。
サービスの対象となる障害は、①ディスク故障、② RAID 構成異常、③ RAID 崩壊となります。

(6) リモートサポート
インターネットを介して、弊社スタッフが、お客様のパソコン画面を確認しながら遠隔操作・サポートをするサービスです。
①サービスの利用条件
・対象製品をご利用のパソコン環境が WindowOS の場合のみとなります。
macOS・仮想環境のパソコン、スマートフォン / タブレット (iOS、Android) でのリモートサポートはできません。
・インターネット接続ができるパソコンであることが必要です。

②サービス対象外（以下はリモートサポートの対象外です）
・海外へのリモートサポート
・弊社製以外のソフトウェアや商品に関するサポート

(7) 優先電話回線（保守窓口）
・本サービスでは、フリーコールの優先電話回線をご利用いただけます。電話番号は、本サービスのお申し込みの際にお客様に送信される登録完了メール、または、お申し込み後のオンライン登録ページ内に記載されております。
・対象製品に不具合が発生したときは、フリーコールの優先電話回線へご連絡ください。ご連絡の際は、事前に製品名・製品 S/N をご確認ください。

オンサイト保守パック ご利用規約

本規約に基づいてサービスを実施いたします。本規約にご同意いただける場合には、所定の手続に従ってサービスをお申し込みください。なお、弊社ウェブサイトや本サービスの申込書等に記載されているルールも本規約の一部を構成します。

第 1 章 サービス全般

第 1 条（定義）

本規約で使用される用語の定義は、以下の各号に定める通りとします。
①「本サービス」とは、『オンサイト保守パック サービス内容』に定める全てのサービスを意味します。
②「対象製品」とは、本サービスの対象となる弊社製品（弊社指定の UPS 商品を含みます）を意味します。
③「不具合製品」とは、不具合が発生した対象製品、「不具合部品」とは、不具合が発生した対象製品の部品を意味します。
④「不具合」とは、対象製品の保証書において無償修理の対象となっている故障を意味します。ただし、初期不良、着荷不良は「不具合」に含まれません。
⑤「オンサイト」とは、弊社スタッフがお客様を訪問し、対象製品の交換および簡単な接続テストを行うサービスを意味します。
⑥「デリバリィ」とは、不具合製品の代替品をお客様に送付し、不具合製品を引き取るサービスを意味します。
⑦「センドバック」とは、お客様から不具合製品をお送りいただき、修理した対象製品を弊社からお客様に返送するサービスを意味します。
⑧「データ復旧サービス特約」とは、不具合が発生した対象製品からデータの復旧を試みるサービスを意味します。
⑨「論理障害」とは、ハードウェアに問題はないがファイルにアクセスが不可能な状態のことを意味します。
⑩「物理障害」とは、電気的、機械的に破損し、対象製品にアクセスできない状態や異音が発生する状態のことを意味します。
⑪「バックアップハードディスク」とは、データ復旧の対象となる対象製品に接続されたハードディスクであり、スケジュールバックアップ先のことを意味します。
⑫「NarSuS」（ナーサス）とは、弊社のクラウド状態管理サービス NarSuS を意味します。
⑬「NarSuS 見守り」とは、NarSuS で障害が検知された場合に、弊社から連絡および障害対応をするサービスを意味します。
⑭「リモートサポート」とは、インターネットを介して、弊社スタッフが、お客様のパソコン画面を確認しながら遠隔操作・サポートをするサービスを意味します。

第 2 条（対象製品）

1.「オンサイト保守パック」1パッケージにつき、本サービスを受けられる対象製品は 1 台（ISS-LG2 シリーズのみ 2 台）です。また、対象製品は新品に限り、中古品、アウトレット品、同梱ソフトウェア、添付品等は対象外です。
2. 対象製品は日本国内に設置されているものに限定します。
3. 対象製品以外に別途購入された交換用部品は、対象製品に接続してご利用の場合でも本サービスの対象となりません。ただし、空きスロットのある対象製品につき本サービスをお申し込みいただいた場合、所定の方法により追加登録をした空きスロット対応ドライブは、空きスロット数を上限に本サービスの対象とします。

第 3 条（お申し込み方法）

1.「オンサイト保守パック」は、対象製品の購入から登録期限内にお申し込みください。「延長パック」は、既存登録の保守終了日までにお申し込みください。期限経過後は本サービスのお申し込みはできません。
2. 本サービスのお申し込みに対し、弊社が承諾する場合、弊社から申込完了のメールを送信します。お申し込み後 24 時間以上（FAX によるお申し込みの場合は 10 営業日以上）連絡がない場合は、アイ・オー・サービスステーション（下記連絡先）までお問い合わせください。
【アイ・オー・サービスステーション】
TEL：076-260-3609 e-mail：safety@iodata.jp
受付時間：月曜日～金曜日 9:00 ～ 17:00（祝休日、弊社指定休業日を除く）

第 4 条（本サービス内容）

1. 弊社は『オンサイト保守パック サービス内容』に定めるサービスを提供します。不具合が発生した場合は、原則として部品交換とします。対象製品の交換が必要な場合で同型番が用意できない場合は、弊社の判断で、同等機能を有する製品をもって対応することがあります。
2. 本サービスの実施時間は、月曜日～金曜日 9:00 ～ 17:00（祝休日、弊社指定休業日を除く）です。
3. お客様が所有している対象製品や購入した保守パックの型番によっては、データ復旧サービス特約、NarSuS 見守り、リモートサポートが対象外となっています。詳細は弊社ホームページをご確認ください。
4. 本サービスの全部または一部の実施を第三者に委託することがあります。
5. 弊社は、本規約および本サービスの内容を変更することができるものとします。変更内容は、弊社ホームページへの掲載その他の適切な方法で公表し、相当な期間が経過した日に効力が発生します。最新の情報は弊社ホームページをご確認ください。

第 5 条（本サービス対象外）

1. 以下の各号に該当する場合は、本サービスの対象外とします。
① 不具合がお客様の過失に起因する場合（取扱説明書等に記載された使用方法、製品設置条件に反する取扱いにより不具合が発生した場合や対象製品の運搬、設置時の落下・衝撃により不具合が発生した場合を含みます）
② 弊社以外の第三者による修理、改造に起因して不具合が発生した場合

③ 弊社が指定する保守部材以外の部材を使用したこと、または適切な管理がなされていない保守部材を使用したことにより対象製品に不具合が発生した場合
④ 取り外しが困難な場所に対象製品が設置され、弊社スタッフの作業ができない場合
⑤ 対象製品のシリアル No. シールが破損、汚損し、識別が困難な場合
⑥ 不具合が地震、水害、落雷、火災その他天災地変等の不可抗力に起因する場合
⑦ お客様が本規約に違反している場合など、本サービスの提供が不適切であると弊社が判断する場合
2. 以下の各号の内容は、本サービスの内容に含まれません。
① 対象製品の移設、撤去に関する作業や立会い
② お客様の要望による対象製品の改造、清掃、点検
③ 対象製品が接続されるネットワークの復旧作業
④ ソフトウェアに起因する事故の調査や対象製品の修理
⑤ 対象製品に含まれるデータの保護、バックアップ
⑥ 対象製品交換時のリビルド完了までの立会や RAID 構成等の各設定作業
⑦ 対象製品交換後のデータの移行

第 6 条（料金および費用）
1. 本サービス料金には、『オンサイト保守パック サービス内容』に定める全てのサービスの料金が含まれます。ただし、以下の各号に該当する場合は、次の費用の支払が必要です。
① 対象製品の設置場所が離島等であり、本サービスを提供するために、弊社スタッフが船舶、航空機等の交通機関を使用し、または宿泊等する必要がある場合
・・・実費相当分
② データの復旧作業にかかる費用が上限額を超える場合
・・・上限額を超える差額分
2. 本サービスの実施に必要な費用のうち水道光熱費、消耗品費、通信費はお客様の負担となります。
3. 一旦お支払いいただいた本サービス料金の返還はいたしかねますのでご了承ください。

第 7 条（プログラム・データのバックアップ等）
1. 本サービスの実施前に、お客様ご自身で、プログラムおよびデータのバックアップを行ってください。弊社は、プログラムおよびデータの復元等はお受けいたしかねます。また、プログラムおよびデータの滅失、損傷等について、弊社は一切の責任を負いません。
2. 対象製品内に特定個人情報が含まれている場合、パスワード設定や暗号化等のアクセス制限を必ず設定のうえで本サービスにお申し込みください。弊社は対象製品内のデータを閲覧等することはありませんが、番号法のガイドラインに沿って適切なアクセス制御がされていない対象製品に対し本サービスを実施することができません。

第 8 条（お客様のご協力）
1. 本サービスの利用にあたって以下の各号につきご協力をお願いします。
① 本サービスの利用にあたり、対象製品の使用環境・不具合の現象等についてご連絡いただくこと
② 対象製品の設置場所を変更した場合、オンライン登録画面にログインし、登録内容を変更いただく、又はアイ･オー･サービスステーションに e-mail でご連絡いただくこと
③ 対象製品に添付のマニュアルに記載されている設置に適した場所に対象製品を設置し、使用環境の整備、維持をいただくこと
2. 前項のご協力をいただけない場合、本サービスの提供をお断りすることがあります。

第 9 条（設置場所への立入）
1. 本サービスを実施するために弊社スタッフが対象製品の設置場所へ立ち入ることを承諾いただくとともに、本サービスの実施に必要となる作業場所や消耗品を無償でご提供いただきます。
2. 本サービスの実施のために必要な範囲で対象製品の稼働を停止するものとします。

第 10 条（不具合製品・不具合部品の回収）
1. 不具合製品や不具合部品の所有権は、「HDD 返却不要タイプ」の場合を除いて、弊社に帰属します。そのため本サービス実施後に不具合製品や不具合部品はすべて回収します。不具合製品や不具合部品の回収ができない場合、代替品の費用相当額をお支払いいただきますのでご注意ください。
2. 前項により回収した不具合製品や不具合部品は弊社の判断で処分等します。内部に記録された情報が漏洩等しないよう適切に処分しますが、重要なプログラムやデータが保存されている場合は、お客様の責任で事前に消去をしてください。

第 11 条（責任範囲）
1. 本サービスの実施後 6 ヶ月以内に、対象製品に本サービスの実施に起因する不具合が発見された場合、弊社の費用負担で対象製品の修補を行い、修補が困難な場合には、弊社の判断で同等機能を有する製品と交換します。ただし、不具合に弊社の過失が認められる場合に限ります。
2. 弊社の損害賠償責任は、請求原因に関わらず、現実に発生した通常かつ直接の損害を対象とし、損害発生の直接の原因となった本サービス料金を上限とします。
3. 弊社は、対象製品の使用不能期間中に代替製品等を提供する義務を負いません。
4. 天災地変、伝染病、暴動、同盟罷業その他の争議行為、輸送機関の事故、その他不可抗力により本規約の履行の遅延または不能が生じた場合、弊社はその責任を負いません。

第 12 条（個人情報・機密保持）
1. 本サービスに関連して弊社が取得したお客様の氏名、住所等の個人情報は、弊社プライバシーポリシーに基づき必要な範囲で利用させていただき、それ以外の目的で利用することはありません。
弊社プライバシーポリシー https://www.iodata.jp/privacy.htm
2. お客様および弊社は、本サービスの実施により知った相手方の機密情報を、相手方の事前の書面による承諾を得ることなく、開示・漏洩等しないものとします。

第 13 条（権利・義務の譲渡禁止）
お客様は、弊社の事前の書面による承諾を得ることなく、本サービスに関する権利または義務の全部または一部を第三者に譲渡することはできません。

第 14 条（反社会的勢力との関係断絶）
1. お客様は、自己もしくは自己の役員が反社会的勢力でなく、また、反社会的勢力ではなかったこと、および反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有しておらず、今後も有しないことを保証するものとします。
2. お客様が前項に違反し、または違反するおそれがあると弊社が判断した場合、弊社は何らの催告なしに本サービスを解除できるものとします。

第 15 条（解約）
弊社は、以下の各号に該当する場合、本サービスの解約をすることができるものとします。
① お客様が本サービス料金の支払を行わない場合
② 不可抗力により本サービスの実施ができない場合

第 16 条（実施可能期間等）
1. 本サービスの実施可能期間を超えて対象製品を使用している場合、本サービスの利用をすることはできません。本サービスの実施可能期間は、対象製品の購入日から対象製品に応じて設定されている一定年数が経過するまでとなります。なお、一定年数については弊社ホームページをご確認ください。
2. 空きスロットのある対象製品に、所定の方法により追加登録をした空きスロット対応ドライブについて、本サービス実施可能期間は、対象製品本体の期間に準じます。
3. 対象製品の老朽化等により、本サービスの実施によっても対象製品の正常な稼働が困難であると弊社が判断した場合、お客様と弊社で協議の上、対象商品の以降の取扱いを決定することとします。

第 17 条（協議解決）
本規約に定めのない事項または本規約の解釈に疑義が生じた場合には、お客様と弊社において誠実に協議を行うこととします。

第 18 条（裁判管轄）
本サービスに関する一切の紛争については、弊社の本店所在地を管轄する地方裁判所をもって第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

第 2 章 データ復旧サービス特約

第 19 条（データ復旧サービス特約のサービス内容）
1. データ復旧サービス特約は、お客様のデータを復旧することを試みるサービスであり、お客様のデータの復旧を保証し、データ消失の損害を補償するものではありません。障害の状況によってはデータの復旧ができない場合があります。
2. データ復旧サービス特約は、対象製品の修理や障害発生の原因調査を目的とするものではありません。

第 20 条（データ復旧サービス特約の利用条件）
1. お客様は、データ復旧サービス特約をご利用になる場合、以下の各号のすべての条件を満たすことが必要になります。
① 対象製品が、NarSuS に登録されていること
② インターネット環境に接続されており、対象製品から弊社データセンターへ定期通知データが送信されていること
③ 対象製品に弊社製のバックアップハードディスクが接続されており、共有フォルダにバックアップ設定がされていること（バックアップ設定がされていない共有フォルダは復旧の対象外となります）、または、バックアップハードディスクによる「eSATA ミラー」、同一機種 2 台による「レプリケーション」、「リレー NAS」で運用されていること
④ その他、弊社ホームページでご案内する条件に合致すること
2. 前項各号のすべての条件を満たした場合であっても、以下の各号に該当する場合は、データ復旧サービス特約を利用することができません。
① お客様の過失により対象製品に論理障害や物理障害が発生した場合
② 論理障害や物理障害の原因が不可抗力事由に起因する場合
③ その他、弊社がデータ復旧を困難であると判断した場合
3. データ復旧サービス特約は、以下の各号の回数・費用の限度で利用することができます。
① 本サービスの利用期間中、論理障害については合計 3 回まで、物理障害については合計 1 回まで利用することができます。
② 弊社（弊社委託先を含む）の作業費用が 100 万円に達するまで、データ復旧サービス特約を利用することができます。前号の範囲で複数回のデータ復旧サービス特約を利用した場合は、累計で 100 万円に達するまで、データ復旧を利用することができます。
③ 延長パック製品を購入しても、データ復旧サービス特約の回数・費用は増加しません。保守パック製品の利用期間中の

回数・費用と延長パック製品の利用期間中の回数・費用が合算されて、前2号（①・②）の制限を受けます。
④ データの復旧ができないと弊社が判断した場合、当該作業分は利用回数・費用に含まれません。

第 21 条（データ復旧サービス特約の利用方法）
1. データ復旧サービス特約をご利用になる場合、弊社所定のデータ復旧依頼書を対象製品、バックアップハードディスクとともに弊社宛てに送付してください。送料は弊社にて負担します。
2. 弊社は、前項に定める対象製品等を受領後、すみやかにデータの復旧可否を判断し、弊社または弊社委託先でデータ復旧作業を実施します。
3. データの復旧にかかる費用が 100 万円を超える場合には、差額分の見積書を送付します。データ復旧サービス特約の実施有無をお客様にてご判断ください。
4. 前項に定める差額分の支払が必要な場合、お客様には弊社指定の銀行口座に現金を振込む方法により差額分をお支払いいただき、弊社にて振込を確認した時点からデータ復旧作業を開始します。
5. お客様による振込確認後、弊社はデータの復旧作業を開始するため、お支払いいただいた料金は返還いたしません。

第 22 条（データ復旧作業後の処理）
1. データの復旧作業の終了後、弊社はデータ復旧の成否にかかわらず（弊社がデータの復旧をできないと判断した場合を含みます）、お預かりしたバックアップハードディスクをお客様に返却します。送料は弊社にて負担します。
2. 弊社は、復旧したデータをメディアまたはハードディスクに記録し、お客様に送付します。
3. お客様から弊社に送付された対象製品は弊社にて処分し、お客様に対して返却しません。なお、「HDD 返却不要タイプ」をご購入のお客様に対しても対象製品の返却はいたしません。
4. データ復旧サービス特約を実施するために、弊社で一時的にお預かりするお客様のデータは、データ復旧作業終了後、14 日以内に廃棄します。

第 23 条（データ復旧作業における責任）
1. お客様には、対象製品のデータの復旧を依頼する正当な権原を有することを保証いただきます。データの復旧により第三者から請求、クレーム、損害賠償請求等が発生した場合、お客様の責任で解決いただきます。
2. 運送業者による対象製品およびその中のデータの紛失、損傷等に関して、弊社は一切責任を負うことはありません。
3. データ復旧サービス特約の提供に起因して発生したお客様のデータの喪失（ファイルの読み取りが不可となる場合、ファイルの名称、数量、内容が変化する場合、データの機能性および有用性が喪失した場合も含みますが、これらに限られません。）について、弊社は一切の責任を負うことはできません。
4. 弊社は、お客様から対象製品を受領後 30 日以上お客様と連絡がとれない場合、対象製品およびバックアップハードディスクの処分ならびに復旧データの抹消をします。データ復旧依頼書にご記入の住所、連絡先等に変更があった場合、必ず弊社までご連絡ください。

第 3 章 NarSuS 見守り

第 24 条（NarSuS 見守りの利用条件）
1. お客様は、NarSuS 見守りをご利用になる場合、以下の各号のすべての条件を満たすことが必要になります。
① 対象製品について、NarSuS の登録が行われていること
② インターネット環境に接続されており、対象製品から弊社データセンターへ定期通知データが送信されていること
③ NarSuS のサービス利用規約に同意していること
2. NarSuS 見守りをご利用の際、対象製品の管理者パスワードが必要となりますので、大切に保管をお願いします。

第 25 条（NarSuS 見守りの実施）
1. 対象製品の不具合により、NarSuS に異常通知が発生した場合、弊社サポートセンターよりご連絡いたします。
2. 対象製品の不具合発生時または交換時には、Windows パソコンによる操作が必要です。また、HDL-Z シリーズの場合は、HDMI モニター、マウス、キーボードが必要です。予めご準備をお願いします。
3. 対象製品の状況によっては、『第4章 リモートサポート』の定めに従って、リモートによる操作をさせていただく場合があります。

第4章 リモートサポート

第 26 条（リモートサポートの利用条件）
1. お客様は、リモートサポートをご利用になる場合、以下の各号のすべての条件を満たすことが必要になります。
① 対象製品を所有していること
② リモート操作するパソコンが対象製品と同一ネットワーク上にあり、かつ、当該ネットワークがインターネットに接続できる状態であること
③ 日本国内において、日本語を用いてサービスの提供を受けることができること
2. 本サービスは、対象製品に生じているトラブルの解決を保証するものではありません。
3. お問合せ内容または対象製品の状況、使用環境等によっては、リモートサポートを利用できない場合があります。
4. リモートサポートの実施時間は以下の通りとします。
月曜日～金曜日 9:00 ～ 17:00（祝休日、弊社指定休業日を除く）

第 27 条（専用ソフトウェア）
1. リモートサポートを利用する場合、お客様が保有するパソコンに弊社所定の専用ソフトウェアをダウンロード・インストールしていただく必要があります。
2. お客様は、専用ソフトウェアについて改変、逆アセンブル・逆コンパイルを伴うリバースエンジニアリング、再配布等

をしないものとします。

第 28 条（リモートサポートの実施）
1. お客様は、弊社がリモートサポートをするにあたり、弊社の指示に従ってパソコンの操作を行っていただきます。
2. 弊社は、対象製品とインターネット接続しているお客様のパソコンをリモートにより操作いたします。そのため、弊社はパソコンや対象製品の機器情報、ネットワーク設定、フォルダ・ファイル構成、対象製品の管理者・ユーザー情報、パソコンの設定内容等の情報を本サービスの提供に必要な範囲において閲覧することとなります。
3. 前項のリモート操作により、IP アドレス、MAC アドレス、リモートの操作履歴が弊社のサーバーに収集されますが、リモートサポートに関するトラブル発生時の対応等に必要な場合以外に閲覧、利用等をすることはありません。なお、これらのデータはサービス提供後 1 年経過後に消去されます。

データ復旧ご利用規約

APX2-INF4T/RO5A 専用データ復旧ご利用規約

下記規約に基づいてアイ・オー・データ機器（以下「弊社」といいます。）はサービスを実施いたします。

第１条　（定義）
本規約において使用される用語の定義は、以下の各号に定めるとおりとします。
①「本サービス」とは、第２条に定めるサービスを意味します。
②「対象製品」とは、第３条に定める本サービスの対象となる弊社製品を意味します。
③「軽度障害」とは、ハードウェアには問題はないものの、軽微な OS 障害、ファイルシステム障害等の理由でデータにアクセスすることが不可能な状態のことを意味します。
④「中度障害」とは、初期化・削除、及び軽度で対応出来ない論理障害。また、簡易的な物理障害。（不良セクタ）等の理由でデータにアクセスすることが不可能な状態のことを意味します。
⑤「重度障害」とは、電気的、機械的に破損し、データにアクセスするために対象製品の内蔵ドライブを分解しなければならない障害を意味します。
⑥「その他」とは、他社で既に作業している機器や、RAID 構成情報が著しく壊れている機器等、重度障害を越える障害を意味します。

第２条　（本サービスの内容）
本サービスは、何らかの軽度障害が発生することにより、対象製品内部のデータを読み出すことができなくなった場合、かかる内部データを回収するサービスになります。中度障害以上の障害は本サービスの対象外となります。

第３条　（対象製品）
1.「対象製品」とは、以下の製品をいいます。
APX2-INF4T/RO5A
2. 対象製品は日本国内に設置されているものに限定します。
3. 第４条に従ってお申込みいただいた後は、お申込みの際に特定された対象製品以外に、本サービスをご利用いただくことはできません。

第４条　（本サービスご利用の流れ）
本サービスご利用の流れは以下のとおりです。
① 対象製品に障害が発生した場合、弊社サポート窓口にご連絡のうえ、送付いただきます。保証期間が過ぎている場合、既に利用回数が超過されている場合、その他本規約の各種定めに基づき本サービスをご利用いただけない場合は対象製品をお客様に返送します。
【サービス窓口】
株式会社アイ・オー・データ機器 データ復旧サービスセンター宛
〒 920-8513 石川県金沢市桜田町 2 丁目 84 番地 第 2 ビル
② 弊社において、障害のレベルを検証します。軽度障害である場合は、データ復旧可能なファイルリスト及び作業期間をお客様に通知します。かかる通知内容を踏まえて、本サービスの実施を希望されるか否かについてご返信下さい。通知から 7 日以内に返信がない場合は、対象製品をお客様に返送いたします。なお、通知内容は当該時点における見通しであり、実際の復旧作業の結果当該範囲において復旧できない場合もあります。中度障害以上である場合はその旨お客様に通知し、有償サービスのご案内または対象製品を返送します。
③ 上記②で本サービスの実施を希望される旨の返信があった場合、対象製品について本サービスを実施します。
④ 作業が完了した後、対象製品及び回収したデータをお客様にそれぞれ返送及び納品いたします（容量によって CD/DVD, 外付け HDD その他当社が適当と認める媒体を使用します）。
⑤ 納品したデータは、納品後 14 日（2 週間）をもって弊社に存在する複製を消去しますので、それ以降の返却データに関するお問い合わせは受けることは出来ません。

第５条　（利用期限及び利用回数等）
1. 本サービスご利用の利用期限は、対象製品の保証期間と同等となります。
2. 本サービスは、前項に定める利用期限内に、年 1 回、計 5 回に限りご利用いただけます。一部でもデータ復旧ができた場合は、1 回とカウントします。

第６条　（適用除外）
以下のデータについては本サービスをご利用いただけないものとします。
① デジタル放送の録画データ
② 家庭用ゲーム機や携帯型ゲーム機などのデータ
③ 暗号化・セキュリティロックがかかっているデータ
④ データ消去装置またはデータ消去ソフトウェアで消去したデータ
⑤ 地震、水害、落雷、火災、その他の災害により被災したデータ
⑥ 水漏れ、落下に起因して消失したデータ
⑦ ウイルスに感染しているデータ

第７条　（本サービスのご利用にかかる費用負担）
本サービスをご利用いただく際の費用負担は以下のとおりです。
（ア） お客様のご負担となる費用
① 対象製品のご購入費用
② 対象製品を弊社に送る際に発生する梱包及び運送にかかる費用
③ 本サービスをご利用いただけない場合又は第５条２号に基づき本サービスの実施を希望されない場合若しくは指定期間内に返信されなかった場合の、弊社からお客様に返送する際の梱包及び運送にかかる費用（着払いでの発送とさせていただきます）。
④ 本サービスをご利用いただいた後、対象製品の返却及びデータの納品時に弊社選定の輸送方法以外をご希望の場合の当該返却及び納品にかかる梱包及び運送費用
（イ） 弊社にて負担する費用
① 復旧データを納品する際の納品媒体の費用（弊社が選定する媒体を使用いたします）
② 作業完了後の対象製品返却及びデータ納品にかかる梱包及び運送費用

第８条　（本サービスのご利用条件）
1. お客様は、対象製品について、本サービスの実施を依頼する正当な権限を有することを弊社に対して保証します。
2. 本サービスの実施若しくは対象製品及び内部データの権利について第三者からの損害賠償請求等が発生した場合、お客様の責任で解決していただきます。

第９条　（免責事項）
1. 本サービスはお客様のデータの復旧を保証するものではありません。対象製品や障害の状況によってはデータの復旧ができない場合があります。
2. データ復旧の可否等、いかなる理由に関わらず、各費用を返金しないものとします。また、お客様はデータ復旧が不可能であった場合でも、何らの請求、異議申し立てをしないものとします。
3. 弊社は、回収したデータの内容について一切関与又は保証をしません。
4. 本サービスは、対象製品の修理や障害発生の原因調査を目的とするものではありません。
5. 本サービスは、データ復旧を目的とするものであり、データ消失の損害を賠償するものではありません。
6. 運送業者による対象製品およびその中のデータの紛失、損傷等に関して、弊社は一切責任を負いません。
7. データ復旧の提供に起因して発生したお客様のデータの喪失（ファイルの読み取りが不可となる場合、ファイルの名称、数量、内容が変化する場合、データの機能性および有用性が喪失した場合も含みますが、これらに限られません。）について、弊社は一切の責任を負いません。
8. 本サービスの一部もしくは全部の実施を弊社の選任した第三者（以下「弊社委託先」といいます。）に行わせることがありますのでご了承ください。

以上

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容
取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、ハードウェア保証書をご提示いただく事によりそこに記載された期間内においては、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象
保証の対象となるのは弊社が提供する最新のファームウェア、またはソフトウェアを適用した本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外
以下の場合は保証の対象とはなりません。
1）保証書に記載されたご購入日から保証期間が経過した場合
2）修理ご依頼の際、ハードウェア保証書のご提示がいただけない場合
3）ハードウェア保証書の所定事項（型番、お名前、ご住所、ご購入日等〔但し、ご購入日欄については、保証期間が無期限の製品は除きます。〕）が未記入の場合または字句が書き換えられた場合
4）中古品でご購入された場合
5）発火、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
6）お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
7）接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
8）取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
9）合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
10）弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
11）弊社が寿命に達したと判断した場合
12）保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
13）その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理
1）修理を弊社へご依頼される場合は、本製品とご購入日等の必要事項が記載されたハードウェア保証書を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
2）発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
3）本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
4）弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責
1）本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
2）弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
3）本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲
弊社は、日本国内のみにおいてハードウェア保証書または本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。
Our company provides the service under this warranty only in Japan.

IMPORTANT NOTICE (followed by LICENSE TERMS)

Diagnostic and Usage Information. Microsoft automatically collects this information, which may be associated with your organization, over the internet, and uses it to help improve your installation, upgrade, and user experience, and the quality and security of Microsoft products and services. Windows Server IoT has four (4) information collection settings (Security, Basic, Enhanced, and Full), and uses the **"Enhanced"** setting by default. The Enhanced setting includes information required to: (i) run our anti-malware and diagnostic and usage information technologies; (ii) understand device quality, and application usage and compatibility; and (iii) identify quality issues in the use and performance of the operating system and applications.

Choice and Control: Administrators can change the level of information collection through **Settings.** For more information on diagnostic and usage information, see (aka.ms/winserverdata) and the Microsoft Privacy Statement (aka.ms/privacy).

MICROSOFT SOFTWARE LICENSE TERMS

MICROSOFT WINDOWS SERVER IOT STORAGE WORKGROUP

Depending on how you obtained Windows Server (herein referred to as " Windows Server" or "server software" or "software"), this is a license agreement between you and the device manufacturer or software installer that distributes the software with your device. Printed paper license terms, which may come with the software, take the place of any on-screen license terms.

This agreement describes your rights and the conditions upon which you may use the software. You should review the entire agreement, including any supplemental license terms that accompany the software and any linked terms, because all of the terms are important and together constitute this agreement that applies to you. You can review linked terms by pasting the (aka.ms/) link into a browser window. The terms also apply to any updates, supplements, and Internet-based services. If you obtain software from a manufacturer or installer, and you obtain updates or supplements directly from Microsoft, then Microsoft, and not the manufacturer or installer, licenses those to you.

By accepting this agreement or using the software, you agree to all of these terms, and consent to the transmission of certain information during activation and during your use of the software as per the privacy statement described in Section 6. If you do not accept and comply with these terms, you may not use the software or its features. You may contact the device manufacturer or installer to determine its return policy and return the software or device for a refund or credit under that policy. You must comply with that policy, which might require you to return the software with the entire device on which the software is installed for a refund or credit, if any.

1. **License Model Overview.**
   a. This agreement applies to the server software, and any additional Microsoft software that may only be used with the server software, that is preinstalled on your device, or acquired from a manufacturer and installed by you, the media on which you received the software (if any), and also any Microsoft updates, upgrades, downgrades, supplements or services for the software, unless other terms come with them.
   b. **License Model.** The software is licensed based on the number of instances of server software that you run, and the number of user accounts that access instances of server software.
   c. **Specific Use.** The manufacturer or installer designed this server for a specific use. You may only use the software for that use. You may not use the software to support additional software programs or functions, other than utilities or similar software used solely for administration, performance enhancement, preventative maintenance, or to provide complimentary data storage functionality for this server.

2. **Definitions**
   a. **Additional Software.** Additional software is defined as those listed here: (aka.ms/additionalsoftware).
   b. **Assigning a License.** To assign a license means to designate that license to one device or one user.
   c. **Clustered HPC Applications** are high performance computing applications that solve complex computational problems, or a set of closely related computational problems in parallel. Clustered HPC Applications divide a computationally complex problem into a set of jobs and tasks that are coordinated by a job scheduler, such as provided by Microsoft HPC Pack or similar HPC middleware that distributes these in parallel across one or more computers operating within an HPC cluster.
   d. **Instance.** You create an "instance" of software by executing the software' s setup or install procedure or by duplicating an existing instance. Run an Instance. You "run an instance" of software by loading it into memory and executing one or more of its instructions. Once running, an instance is considered to be running (whether or not its instructions continue to execute) until it is removed from memory.
   e. **Operating System Environment.** An "operating system environment" is:
      i. i. all or part of a physical or virtual (or otherwise emulated) operating system instance, that enables separate machine identity (primary computer name or similar unique identifier) or separate administrative rights, and instances of applications (if any), configured to run on the operating system instance or parts identified above.
         (a) Physical operating system environment is configured to run directly on a physical hardware system. The physical operating system instance used to run hardware virtualization software (e.g., Microsoft Hyper-V Server or similar technologies) or to provide hardware virtualization services (e.g., Microsoft virtualization technologies) is considered part of the physical operating system environment.
         (b) A virtual operating system environment is configured to run on a virtual (or otherwise emulated) hardware system.
      ii. ii. A physical hardware system can have either or both of the following:
         (a) one physical operating system environment, and
         (b) one or more virtual operating system environments.

3. **How to License Server Software**
   a. **Licensing a Server.** You may install and use one copy of the server software on one licensed server (physical or virtual). Up to 50 users can access and use the server software on that server as long as:
      · each such user has an assigned user account, and
      · the user accesses the server software through that account.

      You may reassign a user account from one user to another provided that the reassignment does not occur within 90 days of the last assignment.
   b. **Assignment of the License to the Server.** The software license is permanently assigned to the server with which you acquired the software. That server is the licensed server for that particular license. A hardware partition or blade is considered to be a separate server. You may not assign the same license to more than one server.
   c. **Running Instances of the Server Software.** You may run, at any one time, one instance of the server software in one physical or virtual operating system environment on the licensed server.
   d. **Running Instances of the Additional Software.** You may run or otherwise use any number of instances of additional software listed on the website specified below in physical or virtual operating system environments on any number of devices. You may use

additional software only with the server software. For a list of additional software, visit (aka.ms/additionalsoftware).

e. **Server Repartitioning.** You may reassign licenses on a single piece of hardware sooner than permitted above, when you:
- reallocate physical processors from one licensed hardware partition to another;
- create two or more partitions from one licensed hardware partition;
- create one partition from two or more licensed hardware partitions.

as long as (i) prior to repartitioning, each hardware partition is fully licensed, and (ii) the total number of physical processors, physical cores and core licenses remains the same.

f. **Creating and Storing Instances on Your Servers or Storage Media.** For each server for which you are appropriately licensed, you may create and store any number of instances of the software on any of your servers or storage media. This may be done solely to exercise your right to run instances of the software under any of your licenses as described in the applicable use rights (e.g., you may not distribute instances to third parties).

g. **Limitation on Functions Supported by the Software.** The manufacturer or installer licenses you to use the server software to support only the base functions as provided and installed on this server. You are not licensed to use the server to run or support:
- enterprise database software (such as Microsoft SQL Server), except non-enterprise engines such as Microsoft SQL Server Express Edition. The server software also may run or support enterprise database engines (including Microsoft SQL Server) that are integrated in and used only to support the server software as part of the specific use for which the manufacturer or installer designed this server,
- enterprise resource planning (ERP) software,
- messaging or enterprise mail,
- Microsoft Exchange or Microsoft SharePoint Portal Server,
- team collaboration software,
- web-based time management applications that address appointment, meeting and other calendar items,

Additional Limitations on Functions for Windows Storage Server Workgroup:
- more than 6 disk drives,
- NVMe-enabled hardware, and/or
- the external Serial Attached SCSI (SAS) interconnect.

These limitations do not restrict use of the server for data management (such as providing storage and backup functions) for the software identified above.

h. **Restrictions.** The software is licensed, not sold. The manufacturer or installer and Microsoft reserve all rights (such as rights under intellectual property laws) not expressly granted in this agreement, whether by implication, estoppel or otherwise, unless applicable law gives you more rights. You must comply with any technical limitations in the software that only allow you to use it in certain ways. For example, this license does not give you any right to, and you may not:
- work around any technical restrictions or limitations in the software;
- reverse engineer, decompile or disassemble the software, or otherwise attempt to derive the source code for the software, except and only to the extent: (i) permitted by applicable law, or (ii) required by third party licensing terms governing use of certain open source components that may be included in the software;
- use the software' s files and components within another operating system or application running on another operating system;
- publish, rent, lease, lend, or copy the software (other than the permitted backup copy);
- disclose the results of any benchmark tests of the software to any third party without Microsoft' s prior written approval;
- transfer the software (except as permitted by this agreement);
- separate the server software for use in more than one operating system environment under a single license, unless expressly permitted. This applies even if the operating system environments are on the same physical hardware system;
- use the software for commercial software hosting services; or
- when using Internet-based features you may not use those features in any way that could interfere with anyone else' s use of them, or to try to gain access to or use any service, data, account or network, in an unauthorized manner.

Rights to access the software on any device do not give you any right to implement Microsoft patents or other Microsoft intellectual property in software or devices that access that device.

i. **Included Microsoft Programs.** The software may contain other Microsoft programs. Unless otherwise specified, these license terms apply to your use of those Microsoft programs used with server software.

j. **Updates.** The software periodically checks for system updates and may install them for you. You may obtain updates only from Microsoft or authorized sources, and Microsoft may need to update your system to provide you with those updates. By accepting this agreement, you agree to receive these types of automatic updates without any additional notice.

k. **Backup Copy.** You may make a single copy of the software for backup purposes. You may use it only to create instances of the software.

l. **Maximum Instances.** The software or your hardware may limit the number of instances of the server software that can run in physical or virtual operating system environments on the server.

m. **Multiplexing.** Multiplexing or pooling to reduce direct connections with the software does not reduce the number of licenses of any type that you need.

4. **No Windows Server CALs Required.** Servers that access or use functions of Windows Storage Server software licensed under these license terms do not require a client access license (CAL) for Windows Server. Obtaining a CAL for any Microsoft product does not grant you rights to use functions of the server software not licensed under these license terms.

5. **Additional Licensing Provisions.**

a. **Transfer.** The provisions of this section do not apply if you acquired the software in Germany or in any of the countries listed on this site (aka.ms/transfer), in which case any transfer of the software to a third party, and the right to use it, must comply with applicable law.

You may transfer the software only with the licensed server, all Certificate of Authenticity label(s), any additional licenses originally included with the server, and this agreement directly to a third party. Before the transfer, that party must agree that this agreement applies to the transfer and use of the software. You may not retain any instances of the software unless you also retain another license for the software.

Nothing in this agreement prohibits the transfer of software to the extent allowed under applicable law if the distribution right has been exhausted.

b. **Downgrade Rights** Instead of creating, storing, and using the software, for each permitted instance, you may create, store, and use an earlier version of the following editions of the software for so long as Microsoft provides support for that earlier version as set forth in (aka.ms/windowslifecycle):

c. **Data Storage Technology.** The server software may include data storage technology called Windows Internal Database. Components of the server software use this technology to store data. You may not otherwise use or access this technology under this agreement.

d. **Font Components.** While the software is running, you may use its fonts to display and print content. You may only embed fonts in

content as permitted by the embedding restrictions in the fonts; and temporarily download them to a printer or other output device to print content.

e. **Icons, images, and sounds.** While the software is running, you may use but not share its icons, images, sounds, and media. The sample images, sounds, and media provided with the software are for your non-commercial use only.

f. **Additional Functionality.** Microsoft may provide additional functionality for the software. Other license terms and fees may apply.

g. **Adobe Flash Player.** The software includes Adobe Flash Player that is licensed under terms from Adobe Systems Incorporated at (aka.ms/adobeflash). Adobe and Flash are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

h. **Third Party Components.** The software may include third party components with separate legal notices or governed by other agreements, as may be described in the ThirdPartyNotices file(s) accompanying the software.

The software may include third party components that the manufacturer or installer, not the third party, licenses to you under this agreement. Notices, if any, for the third party components are included for your information only.

i. **Additional Notices.**

i. **H.264/AVC, MPEG-4 visual standards and VC-1 video standards.** The software may include H.264/AVC, MPEG-4 and/or VC-1 decoding technology. MPEG LA, L.L.C. requires this notice:
THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE H.264/AVC, THE VC-1 AND THE MPEG-4 PART 2 AND THE C-1 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSES FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE ABOVE STANDARDS ("VIDEO STANDARDS") AND/OR (ii) DECODE H.264/AVC, MPEG-4 PART 2 AND VC-1 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE SUCH VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C; SEE (AKA.MS/MPEGLA).

ii. **Malware protection.** Microsoft cares about protecting your device from malware. The software will turn on malware protection if other protection is not installed or has expired. To do so, other antimalware software will be disabled or may have to be removed.

6. **Privacy; Consent to Use Data.** Your privacy is important to us. Some of the software features send or receive information when using those features. Many of these features can be switched off in the user interface, or you can choose not to use them. By accepting this agreement and using the software you agree that Microsoft may collect, use, and disclose the information as described in the Microsoft Privacy Statement (aka.ms/privacy), and as may be described in the user interface associated with the software features.

7. **Activation and Validation.** You shall use the appropriate product key for activation and validation of the software. Your right to use the software after the time specified in the software may be limited unless it is activated. You are not licensed to continue using the software if it has unsuccessfully attempted to activate and you may not circumvent activation or validation. In either case, Internet, telephone and SMS service charges may apply.

8. **Geographic and Export Restrictions.** If the software is restricted for use in a particular geographic region, then you may activate the software only in that region. You must also comply with all domestic and international export laws and regulations that apply to the software, which include restrictions on destinations, end users, and end use. For further information on geographic and export restrictions, visit (aka.ms/exporting).

9. **Support and Refund Procedures.**For the software generally, contact the device manufacturer or installer for support options. Refer to the support number provided with the software. For updates and supplements obtained directly from Microsoft, Microsoft may provide limited support services for properly licensed software as described at (aka.ms/mssupport). If you are seeking a refund, contact the manufacturer or installer to determine its refund policies. You must comply with those policies, which might require you to return the software with the entire device on which the software is installed for a refund.

10. **Governing Law.** The laws of the state or country where you live (or if a business where your principal place of business is located) govern all claims and disputes concerning the software, its price, or this agreement, including breach of contract claims, unfair competition laws, implied warranty laws, for unjust enrichment, and in tort, regardless of conflict of law principles.

11. **Regional Variations.** This agreement describes certain legal rights. You may have other rights, including consumer rights, under the laws of your state or country. You may also have rights with respect to the party from which you acquired the software. This agreement does not change those other rights if the laws of your state or country do not permit it to do so. For example, if you acquired the software in one of the below regions, or mandatory country law applies, then the following provisions apply to you:

a. **Australia.** References to "Limited Warranty" are references to the express warranty provided by the manufacturer or installer. This warranty is given in addition to other rights and remedies you may have under law, including your rights and remedies in accordance with the statutory guarantees under the Australian Consumer Law.

In this section, "goods" refers to the software for which the manufacturer or installer provides the express warranty. Our goods come with guarantees that cannot be excluded under the Australian Consumer Law. You are entitled to a replacement or refund for a major failure and compensation for any other reasonably foreseeable loss or damage. You are also entitled to have the goods repaired or replaced if the goods fail to be of acceptable quality and the failure does not amount to a major failure.

b. **Canada.** You can choose to stop receiving updates by turning off the automatic update feature or Internet access. Refer to the product documentation to learn how to turn off updates for your specific device or software.

c. **Germany and Austria.**

i. **Warranty.** The properly licensed software will perform substantially as described in any Microsoft materials that accompany the software. However, the manufacturer or installer, and Microsoft, give no contractual guarantee in relation to the licensed software.

ii. **Limitation of Liability.** In case of intentional conduct, gross negligence, claims based on the Product Liability Act, as well as, in case of death or personal or physical injury, the manufacturer or installer, or Microsoft is liable according to the statutory law.

Subject to the preceding sentence, the manufacturer or installer, or Microsoft will only be liable for slight negligence if the manufacturer or installer or Microsoft is in breach of such material contractual obligations, the fulfillment of which facilitate the due performance of this agreement, the breach of which would endanger the purpose of this agreement and the compliance with which a party may constantly trust in (so-called "cardinal obligations"). In other cases of slight negligence, the manufacturer or installer or Microsoft will not be liable for slight negligence.

d. **Other regions.** See (aka.ms/variations) for a current list of regional variations.

12. **Secondary Boot and Recovery Copies of the Software.**
- **Secondary Boot Copy.** If a secondary boot copy of the server software is installed on the device, you may access, boot from, display, and run it solely in the event of a failure, malfunction, or corruption of the primary operating copy of the server software, and

only until the primary operating copy has been repaired or reinstalled. You are not licensed to boot from and use both the primary operating copy and the secondary boot copy of the server software at the same time.

- **Recovery Copy.** You may use any recovery copy of the server software provided solely to repair or reinstall the server software on the device.

13. **Leased Hardware.** If you lease the device from the manufacturer or installer, the following additional terms shall apply: (i) you may not transfer the software to another user as part of the transfer of the device, whether or not a permanent transfer of the software with the device is otherwise allowed in these license terms; (ii) your rights to any software upgrades shall be determined by the lease you signed for the device; and (iii) you may not use the software after your lease terminates, unless you purchase the device from the manufacturer or installer.

14. **Not Fault Tolerant. The software is not fault tolerant. The manufacturer or installer installed the software on the device and is responsible for how it operates on the device.**

15. **HIGH RISK USE DISCLAIMER. WARNING: THE SOFTWARE IS NOT DESIGNED OR INTENDED FOR USE IN ANY DEVICE, SYSTEM OR COMBINATION WITH THIRD PARTY MATERIALS WHERE FAILURE OR FAULT OF ANY KIND OF THE SOFTWARE COULD REASONABLY BE SEEN TO LEAD TO DEATH OR SERIOUS BODILY INJURY, OR TO SEVERE PHYSICAL OR ENVIRONMENTAL DAMAGE.**

16. **Entire Agreement.** This agreement (including the limited warranty below), the terms accompanying any software supplements, updates, and services that you use (whether provided by the manufacturer, installer or Microsoft), and the terms contained in web links listed in this agreement, are the entire agreement for the software and any such supplements, updates, and services. You can also review the terms at any of the links in this agreement by typing the URLs into a browser address bar, and you agree to do so. You agree that you will read the terms before using the software or services, including any linked terms. You understand that by using the software and services, you ratify this agreement and the above linked terms.

Warranty provision for OEM

Limited Warranty

The device manufacturer or installer warrants that properly licensed software will perform substantially as described in any Microsoft materials that accompany the software. If you obtain updates or supplements directly from Microsoft during the 90-day term of this limited warranty, Microsoft provides this limited warranty for them. This limited warranty does not cover problems that you cause, that arise when you fail to follow instructions, or that are caused by events beyond the reasonable control of the manufacturer or installer, or Microsoft. The limited warranty starts when the first user acquires the software and lasts for 90 days. Any supplements, updates, or replacement software that you may receive from the manufacturer or installer, or Microsoft, during that 90-day period are also covered, but only for the remainder of that 90-day period or for 30 days, whichever is longer. Transferring the software will not extend the limited warranty.

The manufacturer or installer, and Microsoft, give no other express warranties, guarantees, or conditions. **The manufacturer or installer, and Microsoft, exclude all implied warranties and conditions, including those of merchantability, fitness for a particular purpose, and non-infringement. If your local law does not allow the exclusion of implied warranties, then any implied warranties, guarantees, or conditions last only during the term of the limited warranty and are limited as much as your local law allows. If your local law requires a longer limited warranty term, despite this agreement, then that longer term will apply, but you can recover only the remedies this agreement allows. You may have additional consumer rights under your local laws, which this agreement cannot change.**

If the manufacturer or installer, or Microsoft, breaches its limited warranty, it will, at its election, either: (i) repair or replace the software at no charge, or (ii) accept return of the software (or at its election the device on which the software was preinstalled) for a refund of the amount paid, if any. The manufacturer or installer (or Microsoft if you acquired them directly from Microsoft), may also repair or replace supplements, updates, and replacement of the software or provide a refund of the amount you paid for them, if any.**These are your only remedies for breach of warranty.** This limited warranty gives you specific legal rights, and you may also have other rights which vary from state to state or country to country.

Except for any repair, replacement, or refund the manufacturer or installer, or Microsoft, may provide, you may not under this limited warranty, under any other part of this agreement, or under any theory, recover any damages or other remedy, including lost profits or direct, consequential, special, indirect, or incidental damages. The damage exclusions and remedy limitations in this agreement apply even if repair, replacement or a refund does not fully compensate you for any losses, if the manufacturer or installer, or Microsoft, knew or should have known about the possibility of the damages, or if the remedy fails of its essential purpose. Some states and countries do not allow the exclusion or limitation of incidental, consequential, or other damages, so those limitations or exclusions may not apply to you.**If your local law allows you to recover damages from the manufacturer or installer, or Microsoft, even though this agreement does not, you cannot recover more than you paid for the software (or up to $50 USD if you acquired the software for no charge).**

Warranty Procedures

For service or refund, you must provide your proof of purchase and comply with the manufacturer' s or installer' s return policies, which might require you to return the software with the entire device on which the software is installed; the certificate of authenticity label including the product key (if provided with your device) must remain affixed.

Contact the manufacturer or installer at the address or toll-free telephone number provided with your device to find out how to obtain warranty service for the software.

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、別段の定めの無い限り、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、発火事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、発火延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- eviDaemon の名称及びそのロゴは、セイコーインスツル（株）の登録商標です。
eviDaemon の名称及びそのロゴは、セイコーインスツル（株）からセイコーソリューションズ（株）にしたライセンスに基づき使用されています。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- 記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

発 行　株式会社アイ・オー・データ機器

商品アンケートにご協力願います

型　番	APX2-INF4T/RO5A
保証期間	ご購入日より **5** 年間有効です

☆お客様	ふりがな お名前　　様 TEL.（　　）　　－ 〒□□□-□□□□ ご住所

「ハードウェア保証規定」をご確認の上、☆印の箇所に楷書で明確にご記入ください。
記入漏れがありますと、保証期間内でも無料修理が受けられませんのでご注意ください。 販売店欄は販売店でご記入いただくものです。 記入がない場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。
また、本保証書は再発行いたしませんので紛失しない様大切に保管してください。

販売店	ご購入日 住所・店名　　印 TEL.（　　）　　－

ご販売店様へ

1.お客様へ商品をお渡しする際は必ず販売日をご購入日欄に記入し貴店名／住所、貴店印をご記入ご捺印ください。
2.記載漏れがありますと、保証期間内でも無償修理が受けられません。

取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、ハードウェア保証規定に従った保証を行いますので、商品と本保証書をご持参ご提示の上お買い求めの販売店または、弊社（修理センター宛）にご依頼ください。

I-O DATA
株式会社 アイ・オー・データ機器

【技術動向、導入事例などについて】

次のサイトに、弊社製ネットワークハードディスク（NAS）「LAN DISK シリーズ」に関するホワイトペーパーを掲載しています。必要に応じてご確認ください。
https://www.iodata.jp/biz/whitepaper/

【保守サービスのご案内】

アイオー・セーフティ・サービス（ISS）は、本製品をより長く安心してご利用いただくために、万が一の場合の保守を実施する有償保守サービスです。
設置から、故障時の交換、ハードディスクのデータ復旧まで充実のサービスをご用意。ワンストップでのサービスをご提供いたします。詳しくは以下をご確認ください。

https://www.iodata.jp/biz/iss/tokusetsu/

進化する明日へ Continue thinking
株式会社 アイ・オー・データ機器
https://www.iodata.jp/